

ハロートレーニング

—— 急がば学べ ——

2026.10～2027.3

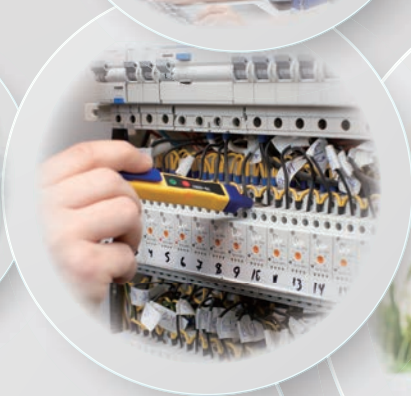
ポリテクセンター埼玉

Seminar Guide 2026

能力開発セミナーのご案内【後期版】

生産性向上支援訓練はP60～61

新規コース
多数
追加!



ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——

らしく、はたらく、
ともに



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉支部
埼玉職業能力開発促進センター

ポリテクセンター埼玉



マイページサービスの提供を開始しました

在職者訓練（能力開発セミナー）、生産性向上支援訓練のWeb申込ができる「マイページ」サービスを開始しました。

※ 指導員派遣・施設設備貸与は、利用方法が異なりますので、マイページ操作方法をご確認ください。

マイページでできること

コース検索・受講申込



- コース番号やコース名、開講月で簡単検索
- その場で申込完了
- 最大10コースまで一括申込可能

申込内容の確認・変更



- 受講者を一覧で確認
- キャンセルもWebで完結（Web上でのキャンセルには、一定の条件がありますのでご注意ください。）

受講関連書類の受領



- 受講案内・各種書類をWebで確認
- マイページ掲載と同時に登録したメールアドレスに通知

請求書の確認



- 登録しているメールアドレスに請求書のダウンロード通知
- マイページからダウンロード可能



マイページ外でのお手続きが必要となる内容もありますので、ご注意ください。

3ステップで登録完了

STEP 1



アクセス

申し込みたいコースが決まったらマイページにアクセス

※ PC・スマートフォンどちらにも対応しています。

STEP 2

マイページを作成する

新規登録

- ① 「マイページを新規に作成される方はこちら」を押す
- ② ログインIDとパスワードの設定
- ③ 事業所情報の登録
必要な情報
 - ・ 法人番号
 - ・ 事業所所在地
 - ・ 電話番号 等

STEP 3



受講申込

在職者訓練（能力開発セミナー）、生産性向上支援訓練のいずれかを申込（申込が完了した時点で、登録完了となります。）



マイページ

<https://mypg.tds.jeed.go.jp/>

／らしく、はたらく、ともに／

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉支部
埼玉職業能力開発促進センター



JEED ポリテクセンター埼玉

も く じ

も く じ	1
【受講のご案内（お申し込みから受講まで）】	2
WEBによる最新情報のご案内	3
年間コース一覧	4～7
月別コース一覧	8～9

能力開発セミナーコース内容

機 械 系	汎用機械	10～12
	NC機械加工	13～15
	機械製図 / 機械設計	16～18
	CAD / CAE	18～21
	機械保全	21～23
	溶接加工	24
	機械材料	25
電 気 ・ 電 子 系	シーケンス（PLC）制御技術	26～29
	電気設備保全	30
	電子回路	30～32
	マイコン制御	32～35
	プログラミング・ アプリケーション開発	35～39
	ネットワーク	40～43
共 通	生産管理 / 品質管理 原価管理 / 人材育成	44～49

ハロートレーニング



能力開発セミナーと事業主の声	50
よくあるご質問 Q & A	51～52
受講申込書	53
受講者変更届	54
オーダーメイド型セミナーのご案内	56
オーダーメイド型セミナー F A X お問合わせ用紙	57
施設利用サービスのご案内	58～59
生産性向上支援訓練のご案内	60～61
事業主の皆様へ ～人材育成確保に関するご案内～	62
埼玉県の職業訓練やキャリア教育に関する総合サイト	63
【周辺地図と交通機関のご案内】	64
ポリテクセンター埼玉構内案内図	65
高度ポリテクセンターのご案内	66
埼玉県内の職業訓練実施施設のご案内	67
近郊のポリテクセンター所在地のご案内	68
能力開発セミナー詳細情報の検索方法	69

先着順での受付です

※受付開始日時以前に受信した申込書は、開始時間との差分を加算した時間に受信したものとして受付させていただきます。

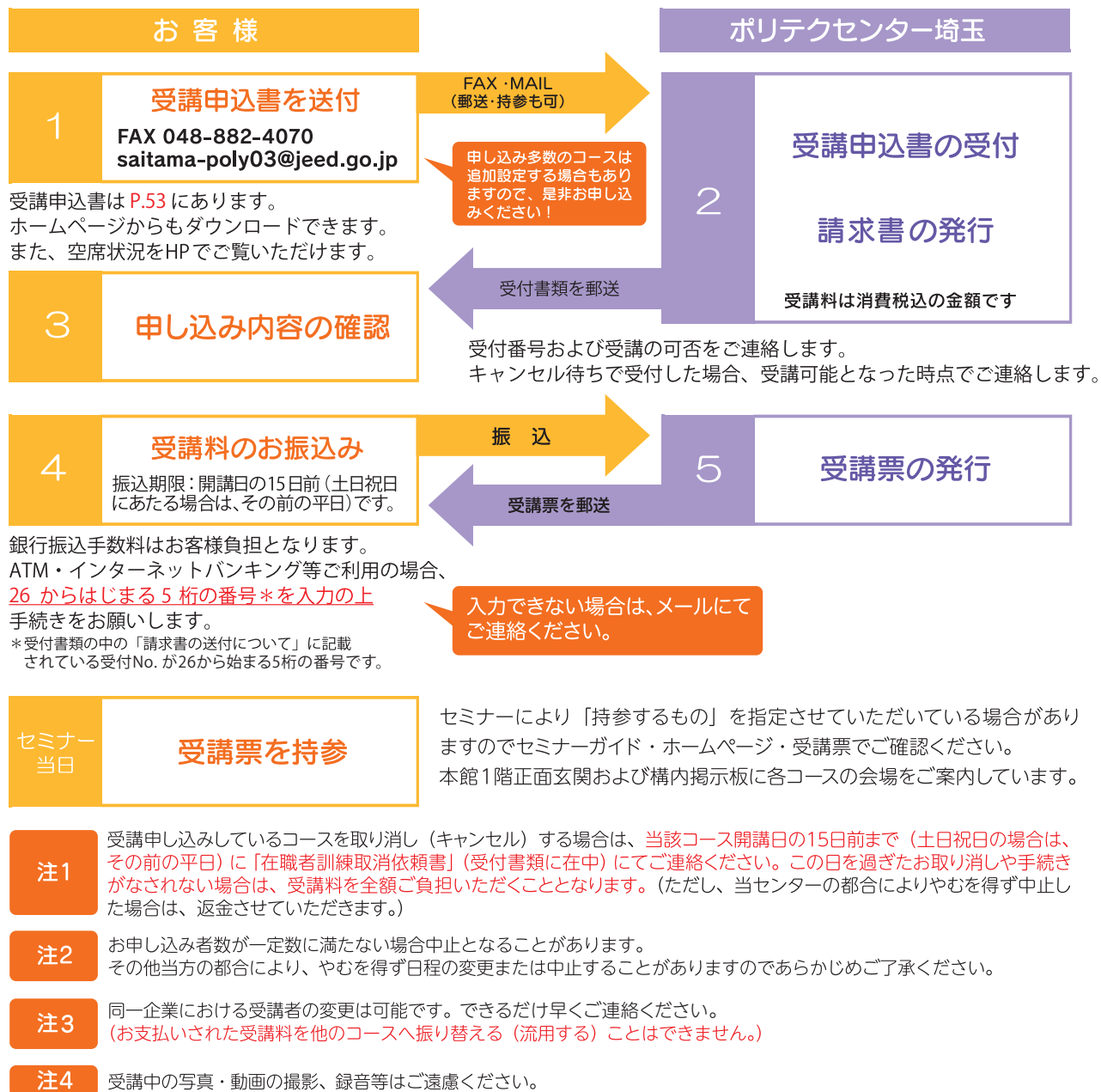
講習時間 9：15～16：00（休憩時間 12：15～13：00）

※コースによっては講習時間が異なる場合がありますので、ご注意ください。

空席状況はポリテクセンター埼玉のホームページで確認できます。
最新の情報はお電話でお問い合わせください。

受講のご案内

お申し込みから受講まで



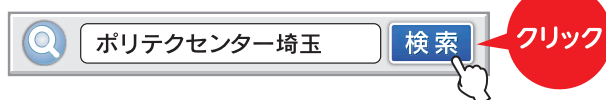
アンケート調査の実施

すべてのコースについて、受講者およびその事業主の方に対し、コース内容に関する満足度についてのアンケート調査への回答をお願いしています。また、一部のコースについては、コース内容の活用状況等についても同様をお願いしております。

※お申し込みに関連するQ&Aにつきましては、本コースガイドの P.51～52をご覧ください。

当センターのホームページにおいて能力開発セミナー各コースの詳細についてご覧いただけます。

<https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/>



Webによる能力開発セミナー情報のご案内

ポリテクセンター埼玉ホームページでは能力開発セミナーの最新情報をご覧いただけます。

クリック

空席状況を確認できます！

<https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/>



独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉支部
埼玉職業能力開発促進センター

ポリテクセンター埼玉

[求職者の方へ](#)
[在職者の方へ](#)
[事業主の方へ](#)
[施設のご案内](#)
[利用者の声](#)



＜在職者の方を対象とした
各種支援のご案内＞

空席状況を確認できます！



ホーム > 職業訓練 > 在職者向け職業訓練（能力開発セミナー）のご案内

在職者向け職業訓練（能力開発セミナー）のご案内

ポリテクセンター埼玉では、在職者の方を対象に、職業に必要な技術・技能・知識の習得を目的とした短期間の職業訓練（能力開発セミナー）を開催しています。従業員に計画的な人材育成やキャリア形成、自己啓発にお役立てください。

また、「ホームページに掲載されているコースを受けたいが、日程が合わない」「自社の実情や目的にあった研修をしたい」等の方に対し、「オーダーメイド型セミナー」も行っています。

コース内容等のご案内

申し込み方法・申込書

オーダーメイド型セミナーのご案内

よくあるご質問

セミナーを利用した方の声

全国のポリテクセンター
セミナーコース情報

令和8年12月開講コース					
番号	種別	コース名	開講日程	定員	空席状況
M053B	機械	金型研磨の高度化	12/1,2,3	10名	キャンセル待ち
M009A	機械	プレス加工技術	12/2,3	8名	受付中
E046A	電気・電子	オブジェクト指向による組み込みプログラム開発技術（Python 編）	12/2,3,4	10名	受付中
M001B	機械	数値制御（CNC）	12/3,4,7,8	10名	受付中
M002B	機械	数値制御（CNC）	12/9,10,11	10名	受付中
E012A	電気・電子	基礎動作に関する電子回路設計技術	12/9,4	10名	受付中
M021B	機械	3D数値制御（CNC）	12/7,8,9,10,11	10名	受付中
M007B	機械	生産設備の保守・点検技術	12/8,9,10	10名	キャンセル待ち
E001F	電気・電子	電気回路シミュレーション技術	12/9,10	12名	キャンセル待ち
E028A	電気・電子	マイコンによる組み込みシステム開発技術（C言語編）	12/10,11	10名	受付中
S005A	共通	なぜなぜ分析による品質改善と生産効率	12/10,11	20名	キャンセル待ち
E009D	電気・電子	数値制御（CNC）	12/16,17	10名	受付中
E017A	電気・電子	組み込みシステム開発のためのセキュリティ技術	12/16,17,18	10名	受付中
S005B	共通	なぜなぜ分析による生産効率の向上	12/17,18	20名	キャンセル待ち
E030A	電気・電子	3Dプリンタによる3D印刷技術（FDM編）	12/22,23	10名	受付中

2026年度 コース一覧表

機械系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料	掲載ページ
汎用機械加工	前M001A～B 後M002A～B	<旋盤加工セットコース 2>旋盤加工技術&旋盤加工応用技術	10	¥37,500	P10
	前M003A 後M001C	<旋盤加工セットコース 3>旋盤によるねじ切り加工技術 & 旋盤加工応用技術(複雑形状)	10	¥42,500	P11
	M011A～B	フライス盤加工応用技術(あり溝編)	6	¥33,000	P12
	M012A	フライス盤加工応用技術(T溝、ボーリング編)	6	¥38,000	P12
NC機械加工	M021B	NC旋盤プログラミング技術	10	¥23,500	P13
	M008A	カスタムマクロによるNCプログラミング技術	8	¥21,000	P13
	M023A	マシニングセンタ加工技術	10	¥22,000	P14
	M024A	穴加工の最適化技術	10	¥26,000	P14
	M009A	プレス加工技術	8	¥17,500	P15
	M010A	プラスチック射出成形品の設計	15	¥16,500	P15
	M031C～D	実践機械製図	8	¥30,000	P16
機械製図 ／ 機械設計 ／ CAD ／ CAE	M033A	実践機械製図(機械保全担当者のためのスケッチ製図技術)	8	¥17,500	P16
	M035A	New 実践機械製図(形状編)	8	¥17,000	P17
	M036A	New 実践機械製図(寸法編)	8	¥13,500	P17
	M032A～B	機械設計のための総合力学	8	¥23,000	P18
	M041B～C	2次元CADによる機械製図技術	10	¥26,000	P18
	M040A～B	New 2次元CADによる機械製図技術(環境設定編)	10	¥9,000	P19
	M042A～B	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	10	¥23,000	P19
	M045A	New 3次元CADを活用したアセンブリ技術	10	¥17,000	P20
	M043B	設計に活かす3次元CADサーフェスモデリング技術	10	¥17,500	P20
	M044A	設計者CAEを活用した構造解析	10	¥18,000	P21
	M052B	油圧実践技術	10	¥18,000	P21
機械保全	M053B	空気圧機器の保全	10	¥18,000	P22
	M054A	空気圧機器の保全管理とトラブル対策	10	¥18,000	P22
	M057B	生産設備診断技術(回転機械編)	10	¥18,500	P23
	M060A	油圧システムの保全技術	8	¥23,500	P23
	W002B	半自動アーク溶接技能クリニック	8	¥25,000	P24
溶接加工	W003C	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	8	¥25,000	P24
	W007B	金属材料の熱処理技術	8	¥22,500	P25

電気・電子系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料	掲載ページ
シーケンス制御	E001E～G	有接点シーケンス制御の実践技術	12	¥12,500	P26
	E002B	シーケンス制御による電動機制御技術	10	¥14,500	P27
	E003A～B	電気系保全実践技術	10	¥13,500	P27
	E005C～E	実践的PLC制御技術<ビット命令編>	10	¥11,500	P28
	E006B	PLC制御の応用技術<応用命令編>	10	¥11,000	P28
	E007B	PLCによるタッチパネル活用技術	10	¥13,500	P29
	E004B	PLCによるインバータ制御技術	10	¥12,500	P29
電気設備保全	E071A	New 自家用電気工作物の高圧機器技術	10	¥18,500	P30
電子回路	E011A	センサ回路の設計技術	10	¥12,000	P30
	E012A	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	10	¥31,500	P31
	E030A	HDLによるLSI開発技術(VHDL編)	10	¥9,500	P31
	E052A	New HDLによるLSI開発技術(Verilog-HDL編)	10	¥9,500	P32

10月	11月	12月	1月	2月	3月
	11/5～11/13	12/3～12/11			
					3/11～3/19
10/26～10/30	11/30～12/4				
			1/25～1/29		
		12/7～12/11			
				2/17～2/19	
10/6～10/9					
				2/2～2/5	
		12/2～12/3			
10/14～10/16					
	11/10～11/13			2/16～2/19	
				2/2～2/4	
		12/10～12/11			
					3/18～3/19
10/6～10/8					3/9～3/11
10/27～10/30	11/24～11/27				
		12/15～12/16		2/9～2/10	
10/13～10/16			1/19～1/22		
10/22～10/23					
			1/26～1/28		
10/21～10/23					
					3/2～3/4
		12/1～12/3			
				2/16～2/18	
		12/8～12/10			
	11/17～11/19				
10/8～10/9					
			1/28～1/29		
				2/4～2/5	

10月	11月	12月	1月	2月	3月
10/14～10/15		12/9～12/10		2/3～2/4	
				2/24～2/25	
10/28～10/29				2/9～2/10	
10/7～10/8		12/16～12/17	1/13～1/14		
			1/27～1/28		
			1/20～1/21		
					3/3～3/4
	11/25～11/26				
10/15～10/16					
		12/3～12/4			
		12/22～12/23			
					3/4～3/5

2026年度 コース一覧表

電気・電子系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料	掲載ページ
マイコン制御	E009A	マイコン制御システム開発技術 (RL78編)	10	¥13,000	P32
	E025A	中止 マイコン制御システム開発技術 (組込みマルチスレッドプログラミング)	10	¥21,000	P33
	E028A	中止 マイコンによるDCブラシ付きモータ制御技術 (PID制御編)	10	¥14,000	P33
	E013B	組込み技術者のためのプログラミング (C言語習得編)	10	¥13,500	P34
	E015B	組込みシステム開発におけるプログラミング実践 (ポインタマスター編)	10	¥19,000	P34
	E041A～B	New マイコン制御システム開発技術<Arduino編>	10	¥20,000	P35
プログラミング・アプリケーション開発	E017A	組込みシステム開発のためのモジュールテスト技術	10	¥21,500	P35
	E021A	中止 組込みデータベースシステム開発技術	10	¥13,500	P36
	E024A	中止 組込みLinuxアプリケーション開発技術 (Raspberry Pi C#編)	10	¥21,000	P36
	E046A	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術 (Python編)	10	¥23,500	P37
	E022A	中止 Webを活用した生産支援システム構築技術	10	¥19,500	P37
	E020A	オープンソースプラットフォーム活用技術 (Android編)	10	¥16,500	P38
	E054A	New 製造データの一元管理技術	10	¥15,000	P38
	E055A	New PHPとXMLによるWebアプリケーション構築技術	10	¥18,000	P39
	E053A	New ロボットで学ぶ組込みシステム設計実装技術	10	¥13,000	P39
ネットワーク	E026C～D	製造現場におけるLAN活用技術 (LAN設定編)	5	¥16,000	P40
	E027A	製造現場におけるLAN活用技術 (外部接続実践編)	5	¥16,500	P41
	E044A	製造現場におけるLAN活用技術 (セキュリティ編)	5	¥16,500	P41
	E049B	製造現場におけるLAN活用技術 (冗長化編)	4	¥29,500	P42
	E051A	IPv6による次世代通信システム構築	5	¥23,500	P43

共通

分野	コース番号	コース名	定員	受講料	掲載ページ
生産管理 ／ 品質管理 ／ 原価管理 ／ 人材育成	S002A	製造現場の小集団活動実践 (効率的、効果的なQCサークル活動)	20	¥9,500	P44
	S003B	New QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証	20	¥9,500	P44
	S005A～B	なぜなぜ分析による製造現場の問題解決	20	¥9,500	P45
	S006A～B	New なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善	20	¥9,500	P45
	S008B～C	ヒューマンエラー対策実践 (ポカミスのない職場づくり)	20	¥9,500	P46
	S009B	New 生産現場改善手法 (現場力向上)	20	¥9,500	P47
	S011A	技能伝承のための部下・後輩指導育成 (OJTトレーナー育成)	20	¥9,500	P48
	S012A	戦略的現場管理者の育成 (できる管理者になろう)	10	¥18,800	P48
	S022A	製造業におけるリスクマネジメントシステム構築技術	10	¥16,500	P49
	S024A	生産性向上のための現場管理者の作業指示技法	10	¥24,000	P49

10月	11月	12月	1月	2月	3月
10/29～10/30					
			1/20～1/22		
		12/10～12/11			
10/22～10/23					
	11/11～11/13				
10/22～10/23			1/28～1/29		
		12/16～12/18			
10/26～10/27					
10/7～10/9					
		12/2～12/4			
	11/18～11/20				
10/19～10/20					
				2/9～2/10	
					3/10～3/12
			1/20～1/22		
	11/5～11/6 11/9～11/10				
10/29～10/30					
				2/17～2/18	
			1/13～1/15		
				2/24～2/26	

10月	11月	12月	1月	2月	3月
			1/14～1/15		
10/8～10/9					
10/8～10/9		12/17～12/18			
		12/10～12/11 12/17～12/18			
			1/28～1/29		3/15～3/16
				2/9～2/10	
					3/18～3/19
			1/7～1/8		
10/21～10/22					
	11/18～11/20				

2026年度 月別一覧表

月	コース番号	系	コース名	日程	実施時間帯	定員	受講料	掲載ページ
10月	M032A	機械	機械設計のための総合力学	10/6,7,8	9:15~16:00	8	¥23,000	P18
	M023A	機械	マシニングセンタ加工技術	10/6,7,8,9	9:15~16:00	10	¥22,000	P14
	E005C	電気・電子	実践的PLC制御技術<ビット命令編>	10/7,8	9:15~16:00	10	¥11,500	P28
	E024A	電気・電子	中止 組込みLinuxアプリケーション開発技術 (Raspberry Pi C#編)	10/7,8,9	9:15~16:00	10	¥21,000	P36
	W002B	機械	半自動アーク溶接技能クリニック	10/8,9	9:15~16:00	8	¥25,000	P24
	S003B	共通	New QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証	10/8,9	9:15~16:00	20	¥9,500	P44
	S005A	共通	なぜなぜ分析による製造現場の問題解決	10/8,9	9:15~16:00	20	¥9,500	P45
	M042A	機械	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	10/13,14,15,16	9:15~16:00	10	¥23,000	P19
	E001E	電気・電子	有接点シーケンス制御の実践技術	10/14,15	9:15~16:00	12	¥12,500	P26
	M010A	機械	プラスチック射出成形品の設計	10/14,15,16	9:15~16:00	15	¥16,500	P15
	E011A	電気・電子	センサ回路の設計技術	10/15,16	9:15~16:00	10	¥12,000	P30
	E020A	電気・電子	オープンソースプラットフォーム活用技術 (Android編)	10/19,20	9:15~16:00	10	¥16,500	P38
	S022A	共通	製造業におけるリスクマネジメントシステム構築技術	10/21,22	9:15~16:00	10	¥16,500	P49
	M044A	機械	設計者CAEを活用した構造解析 (SOLIDWORKS編)	10/21,22,23	9:15~16:00	10	¥18,000	P21
	M045A	機械	New 3次元CADを活用したアセンブリ技術	10/22,23	9:15~16:00	10	¥17,000	P20
	E013B	電気・電子	組込み技術者のためのプログラミング (C言語習得編)	10/22,23	9:15~16:00	10	¥13,500	P34
	E041A	電気・電子	New マイコン制御システム開発技術<Arduino編>	10/22,23	9:15~16:00	10	¥20,000	P35
	E021A	電気・電子	中止 組込みデータベースシステム開発技術	10/26,27	9:15~16:00	10	¥13,500	P36
	M011A	機械	フライス盤加工応用技術 (あり溝編)	10/26,27,28,29,30	9:15~16:00	6	¥33,000	P12
	M041B	機械	2次元CADによる機械製図技術	10/27,28,29,30	9:15~16:00	10	¥26,000	P18
	E003A	電気・電子	電気系保全実践技術	10/28,29	9:15~16:00	10	¥13,500	P27
	E009A	電気・電子	マイコン制御システム開発技術 (RL78編)	10/29,30	9:15~16:00	10	¥13,000	P32
	E027A	電気・電子	製造現場におけるLAN活用技術 (外部接続実践編)	10/29,30	9:15~16:00	5	¥16,500	P41

月	コース番号	系	コース名	日程	実施時間帯	定員	受講料	掲載ページ
11月	E026C	電気・電子	製造現場におけるLAN活用技術 (LAN設定編)	11/5,6	9:15~16:00	5	¥16,000	P40
	M001A M002A	機械	<旋盤加工セットコース 2> 旋盤加工技術&旋盤加工応用技術	11/5,6,9,10,11,12,13	9:15~16:00	10	¥37,500	P10
	E026D	電気・電子	製造現場におけるLAN活用技術 (LAN設定編)	11/9,10	9:15~16:00	5	¥16,000	P40
	M031C	機械	実践機械製図	11/10,11,12,13	9:15~16:00	8	¥30,000	P16
	E015B	電気・電子	組込みシステム開発におけるプログラミング実践 (ポインタマスター編)	11/11,12,13	9:15~16:00	10	¥19,000	P34
	M060A	機械	油圧システムの保全技術	11/17,18,19	9:15~16:00	8	¥23,500	P23
	E022A	電気・電子	中止 Webを活用した生産支援システム構築技術	11/18,19,20	9:15~16:00	10	¥19,500	P37
	S024A	共通	生産性向上のための現場管理者の作業指示技法	11/18,19,20	9:15~16:00	10	¥24,000	P49
	M041C	機械	2次元CADによる機械製図技術	11/24,25,26,27	9:15~16:00	10	¥26,000	P18
	E071A	電気・電子	New 自家用電気工作物の高圧機器技術	11/25,26	9:15~16:00	10	¥18,500	P30
	M011B	機械	フライス盤加工応用技術 (あり溝編)	11/30,12/1,2,3,4	9:15~16:00	6	¥33,000	P12

月	コース番号	系	コース名	日程	実施時間帯	定員	受講料	掲載ページ
12月	M053B	機械	空気圧機器の保全	12/1,2,3	9:15~16:00	10	¥18,000	P22
	M009A	機械	プレス加工技術	12/2,3	9:15~16:00	8	¥17,500	P15
	E046A	電気・電子	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術 (Python編)	12/2,3,4	9:15~16:00	10	¥23,500	P37
	E012A	電気・電子	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	12/3,4	9:15~16:00	10	¥31,500	P31
	M001B M002B	機械	<旋盤加工セットコース 2> 旋盤加工技術&旋盤加工応用技術	12/3,4,7,8,9,10,11	9:15~16:00	10	¥37,500	P10
	M021B	機械	NC旋盤プログラミング技術	12/7,8,9,10,11	9:15~16:00	10	¥23,500	P13
	M057B	機械	生産設備診断技術 (回転機械編)	12/8,9,10	9:15~16:00	10	¥18,500	P23

10 October

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11 November

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12 December

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

月	コース番号	系	コース名	日程	実施時間帯	定員	受講料	掲載ページ
12月	E001F	電気・電子	有接点シーケンス制御の実践技術	12/9,10	9:15~16:00	12	¥12,500	P26
	M035A	機械	New 実践機械製図(形状編)	12/10,11	9:15~17:30	8	¥17,000	P17
	E028A	電気・電子	中止 マイコンによるDCブラシ付きモータ制御技術(PID制御編)	12/10,11	9:15~16:00	10	¥14,000	P33
	S006A	共通	なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善	12/10,11	9:15~16:00	20	¥9,500	P45
	M040A	機械	New 2次元CADによる機械製図技術(環境設定編)	12/15,16	9:15~16:00	10	¥9,000	P19
	E005D	電気・電子	実践的PLC制御技術<ビット命令編>	12/16,17	9:15~16:00	10	¥11,500	P28
	E017A	電気・電子	組込みシステム開発のためのモジュールテスト技術	12/16,17,18	9:15~16:00	10	¥21,500	P35
	S005B	共通	なぜなぜ分析による製造現場の問題解決	12/17,18	9:15~16:00	20	¥9,500	P45
	S006B	共通	New なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善	12/17,18	9:15~16:00	20	¥9,500	P45
	E030A	電気・電子	HDLによるLSI開発技術(VHDL編)	12/22,23	9:15~16:00	10	¥9,500	P31

月	コース番号	系	コース名	日程	実施時間帯	定員	受講料	掲載ページ
1月	S012A	共通	戦略的現場管理者の育成(できる管理者になろう)	1/7,8	9:15~16:00	10	¥18,800	P48
	E005E	電気・電子	実践的PLC制御技術<ビット命令編>	1/13,14	9:15~16:00	10	¥11,500	P28
	E049B	電気・電子	製造現場におけるLAN活用技術(冗長化編)	1/13,14,15	9:15~16:00	4	¥29,500	P42
	S002A	共通	製造現場の小集団活動実践(効率的、効果的なQCサークル活動)	1/14,15	9:15~16:00	20	¥9,500	P44
	M042B	機械	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	1/19,20,21,22	9:15~16:00	10	¥23,000	P19
	E007B	電気・電子	PLCによるタッチパネル活用技術	1/20,21	9:15~16:00	10	¥13,500	P29
	E025A	電気・電子	中止 マイコン制御システム開発技術(組込みマルチスレッドプログラミング)	1/20,21,22	9:15~16:00	10	¥21,000	P33
	E053A	電気・電子	New ロボットで学ぶ組込みシステム設計実装技術	1/20,21,22	9:15~16:00	10	¥13,000	P39
	M012A	機械	フライス盤加工応用技術(T溝、ボーリング編)	1/25,26,27,28,29	9:15~16:00	6	¥38,000	P12
	M043B	機械	設計に活かす3次元CADサーフェスモデリング技術	1/26,27,28	9:15~16:00	10	¥17,500	P20
	E006B	電気・電子	PLC制御の応用技術<応用命令編>	1/27,28	9:15~16:00	10	¥11,000	P28
	W003C	機械	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	1/28,29	9:15~16:00	8	¥25,000	P24
	E041B	電気・電子	New マイコン制御システム開発技術<Arduino編>	1/28,29	9:15~16:00	10	¥20,000	P35
	S008B	共通	ヒューマンエラー対策実践(ポカミスのない職場づくり)	1/28,29	9:15~16:00	20	¥9,500	P46

月	コース番号	系	コース名	日程	実施時間帯	定員	受講料	掲載ページ
2月	M033A	機械	実践機械製図(機械保全担当者のためのスケッチ製図技術)	2/2,3,4	9:15~16:00	8	¥17,500	P16
	M024A	機械	穴加工の最適化技術	2/2,3,4,5	9:15~16:00	10	¥26,000	P14
	E001G	電気・電子	有接点シーケンス制御の実践技術	2/3,4	9:15~16:00	12	¥12,500	P26
	W007B	機械	金属材料の熱処理技術	2/4,5	9:15~16:00	8	¥22,500	P25
	M040B	機械	New 2次元CADによる機械製図技術(環境設定編)	2/9,10	9:15~16:00	10	¥9,000	P19
	E003B	電気・電子	電気系保全実践技術	2/9,10	9:15~16:00	10	¥13,500	P27
	E054A	電気・電子	New 製造データの一元管理技術	2/9,10	9:15~16:00	10	¥15,000	P38
	S009B	共通	New 生産現場改善手法(現場力向上)	2/9,10	9:15~16:00	20	¥9,500	P47
	M054A	機械	空気圧機器の保全管理とトラブル対策	2/16,17,18	9:15~16:00	10	¥18,000	P22
	M031D	機械	実践機械製図	2/16,17,18,19	9:15~16:00	8	¥30,000	P16
	E044A	電気・電子	製造現場におけるLAN活用技術(セキュリティ編)	2/17,18	9:15~16:00	5	¥16,500	P41
	M008A	機械	カスタムマクロによるNCプログラミング技術	2/17,18,19	9:15~16:00	8	¥21,000	P13
	E002B	電気・電子	シーケンス制御による電動機制御技術	2/24,25	9:15~16:00	10	¥14,500	P27
	E051A	電気・電子	IPv6による次世代通信システム構築	2/24,25,26	9:15~16:00	5	¥23,500	P43

月	コース番号	系	コース名	日程	実施時間帯	定員	受講料	掲載ページ
3月	M052B	機械	油圧実践技術	3/2,3,4	9:15~16:00	10	¥18,000	P21
	E004B	電気・電子	PLCによるインバータ制御技術	3/3,4	9:15~16:00	10	¥12,500	P29
	E052A	電気・電子	New HDLによるLSI開発技術(Verilog-HDL編)	3/4,5	9:15~16:00	10	¥9,500	P32
	M032B	機械	機械設計のための総合力学	3/9,10,11	9:15~16:00	8	¥23,000	P18
	E055A	電気・電子	New PHPとXMLによるWebアプリケーション構築技術	3/10,11,12	9:15~16:00	10	¥18,000	P39
	M003A M001C	機械	<旋盤加工セットコース 3>旋盤によるねじ切り加工技術 & 旋盤加工応用技術(複雑形状)	3/11,12,15,16,17,18,19	9:15~16:00	10	¥42,500	P11
	S008C	共通	ヒューマンエラー対策実践(ポカミスのない職場づくり)	3/15,16	9:15~16:00	20	¥9,500	P46
	M036A	機械	New 実践機械製図(寸法編)	3/18,19	9:15~17:30	8	¥13,500	P17
	S011A	共通	技能伝承のための部下・後輩指導育成(OJTトレーナー育成)	3/18,19	9:15~16:00	20	¥9,500	P48

2027

1 January

2 February

3 March

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



<旋盤加工セットコース 2>

旋盤加工技術 & 旋盤加工応用技術

セットコース

定員

10名

日数

7日

時間

42時間

時間帯

9:15~16:00

受講料(税込)

37,500円

◆加工条件の選定と各種加工作業を行うスキルアップに役立つコースです

※日程に土日は含みません

訓練内容

【前コース M001】

<加工する形状に応じたバイトの選定と各種加工作業>

普通旋盤の安全作業、加工条件の選定、各種加工方法（外径・内径・溝・ねじ切り・ローレット・テーパ加工）と関連知識について、実習を通して習得します。

① 概要

訓練目的及びコース概要／専門能力の確認／安全作業

② 各種加工法

・外径加工、溝加工、ねじ加工、ローレット加工

・課題実習

（外径加工／溝加工のテクニック／ローレット加工のテクニック／ねじ加工）

③ 成果発表

④ まとめ

【後コース M002】

<『前コース M001』の要素を含んだ組合せ部品の加工作業>

『M001』で取り上げた各種加工法に、新たな要素作業（テーパ加工、内径加工）を加えて、組合せ部品を製作します。

① 概要

訓練目的及びコース概要／専門能力の確認／安全作業

② 旋盤加工

・外径加工、テーパ加工、内径加工

③ 総合課題実習

・テーパ合わせ加工、内径段付き加工

④ まとめ

※実習の進行に関わる都合上、1コースのみの受講はできません。

※ノギスとマイクロメータの取り扱いについては事前に習得をお願いします。また、授業の進行具合により多少時間延長することがございます。

コース番号	日 程
M001A&M002A	11/ 5(木) ~ 11/13(金)
M001B&M002B	12/ 3(木) ~ 12/11(金)

受講者の声

- 今後、旋盤を使う機会に役立つ内容だった。
- 会社ではなかなか学ぶことが難しいため、1つ1つ学ぶことができて良かった。旋盤の一通りの流れを習得できた。
- 旋盤の内径を切削する技術を知らなかったため、それを知ることができた。
- 知識を身に付けられたことで加工1つ1つの条件など、その意味を理解しながら今後の仕事に活かしていけると思いました。
- 今までの業務を理論的に再確認でき、基礎的な知識・技術を身に付けることができた。

対象者

ノギスとマイクロメータの取り扱いができる方で、旋盤作業等の業務に従事されている方

持参品

長袖作業服、安全帽、安全靴、保護メガネ、筆記用具

使用機器

普通旋盤、各種バイト、測定具 等



<旋盤加工セットコース 3>

旋盤によるねじ切り加工技術 & 旋盤加工応用技術

セットコース

定員

10名

日数

7日

時間

42時間

時間帯

9:15～16:00

受講料(税込)

42,500円

◆ 普通旋盤作業における要素作業のスキルアップに役立つコースです (複雑形状)

※日程に土日を含みません

訓練内容

【前コース M003】

普通旋盤における要素作業（各種ねじ切り・組立て部品加工）と関連知識について、実習を通して習得します。

- ① 概要
訓練目的及びコース概要／専門能力の確認／安全作業
- ② 高度な加工のために必要な知識
- ③ 各種ねじ切り加工実習
右ねじ／左ねじ加工／内径ねじ加工
- ④ まとめ

【後コース M001】

<『前コース M003』と<旋盤セットコース 2> (M001/M002) の要素を含んだ組合せ部品の加工>

『M003』で取り上げた要素作業に、新たな要素作業（偏心加工）を加えて、組合せ部品を製作します。

- ① 概要
・訓練目的及びコース概要 ・専門能力の確認 ・安全作業
- ② 各種加工方法
(ねじ加工、テーパ加工、偏心加工)
- ③ 総合課題実習
(軸形状加工、内径テーパ加工、内径偏心加工)
- ④ まとめ

※実習の進行に関わる都合上、1 コースのみの受講はできません。

※ノギスとマイクロメータの取り扱いについては事前に習得をお願いします。また、授業の進行具合により多少時間延長することがございます。

対象者

ノギスとマイクロメータの取り扱いができる方で、旋盤作業等の業務に従事されている方、『旋盤加工セットコース 2 (M001/M002)』を受講された方、または同等の知識技能をお持ちの方

持参品

長袖作業服、安全帽、安全靴、保護メガネ、筆記用具

使用機器

普通旋盤、各種バイト、測定具 等

コース番号	日 程
M003A&M001C	3/11(木) ～ 3/19(金)

受講者の声

- 加工の知識を設計に活かせると思った。
- 切削の仕方にもいろいろあり、バイトの選定に役立つ。
- 経験のなかった知識が深まった。
加工に対する知見がより深まった。
- M001 ～ M003 を受講し、4 日間で5 部品製作しました。学んだ内容を実施できたと実感しました。





フライス盤加工応用技術（あり溝編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
6名	5日	30時間	9:15～16:00	33,000円

◆加工条件の選定と各種加工作業を行うスキルアップに役立つコースです

訓練内容

立てフライス盤の安全作業、正面フライスにおける加工条件の選定と六面体加工、エンドミルにおける加工条件の選定と各種加工作業（平行溝合わせ加工、あり溝合わせ加工、R部合わせ加工）について習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・フライス盤の種類、特徴、用途
 - ・各種工具の効果的な使用方法
 - ・安全作業法について
 - ・専門的能力の確認
 - ② 課題実習
 - ③ 総合課題実習（複雑形状部品）
 - ・課題の指示
 - ・作業工程の検討及び確認
 - ・六面体荒切削、正面フライスの効率的な切削方法
 - ・エンドミルによる荒切削、エンドミルの種類及び効果的使用法
 - ・六面体仕上げ切削
 - ・エンドミルによる仕上げ切削
 - ・あり溝スライス加工
 - ④ まとめ
- ※ノギスとマイクロメータの取り扱いについては事前に習得をお願いします。また、授業の進行具合により多少時間延長することがございます。

対象者

ノギスとマイクロメータの取り扱いができる方で、フライス盤作業等の業務に従事される方

持参品

長袖作業服、安全帽、安全靴、保護メガネ、筆記用具

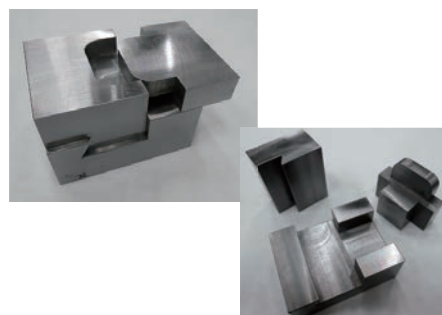
使用機器

立てフライス盤、各種工具、測定具 等

コース番号	日程
M011A	10/26(月)～10/30(金)
M011B	11/30(月)～12/4(金)

受講者の声

- 今までカタログだけを見て決めていた切削条件の出し方などが、どのようにすれば自分で決められるかなど知りました。
- これまでに学んだフライスの使用方法を復習できたと同時に、フライスに関する新たな技術や知識を習得できたため。
- 回転数など細かい知識が身に付きました。



フライス盤加工応用技術（T溝、ボーリング編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
6名	5日	30時間	9:15～16:00	38,000円

◆フライス盤作業における要素作業のスキルアップに役立つコースです（複雑形状）

訓練内容

加工条件の選定、要素作業（六面体加工、平行溝合わせ加工、R部合わせ加工、T溝合わせ加工、ボーリング加工）と関連知識について、実習を通して習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・フライス盤の種類、特徴、用途
 - ・各種工具の効果的な使用方法
 - ・安全作業法について
 - ・専門的能力の確認
- ② 各種加工法（課題実習）
- ③ 総合課題実習（複雑形状部品）
 - ・作業分解
 - ・効率的作業の流れ
 - ・正面フライスによる六面体荒切削
 - ・エンドミルによる段・溝荒切削
 - ・正面フライスによる六面体仕上げ切削
 - ・エンドミルによる仕上げ切削
 - ・曲面削り
 - ・U溝削り
 - ・T溝合わせ加工
 - ・ボーリング加工
- ④ まとめ

対象者

フライス盤作業等の業務に従事されている方、『フライス盤加工応用技術』（M011）を受講された方、または同等の知識技能をお持ちの方

持参品

長袖作業服、安全帽、安全靴、保護メガネ、筆記用具

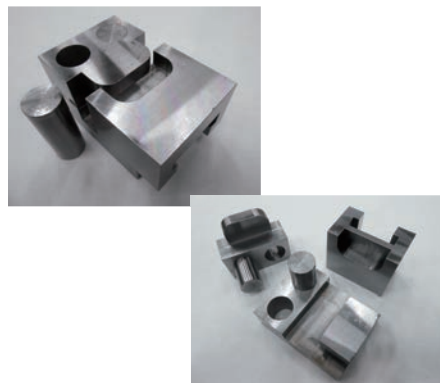
使用機器

立てフライス盤、各種工具、測定具 等

コース番号	日程
M012A	1/25(月)～1/29(金)

受講者の声

- ボーリング加工について理解が深まった。
- 普段は学べない工具の使い方を知ることができた。
- 新しく使用する道具や新しい道具の使い方を知ることができた。



NC旋盤プログラミング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	5日	30時間	9:15~16:00	23,500円

◆マニュアルプログラミングにより作成したプログラムで加工を行うコースです

訓練内容

NC旋盤の概要を学び、NC旋盤作業で必要となるプログラミング技術について習得します。また、加工課題をもとに機械操作・工具セッティング・工具形状補正・自動刃先R補正等について学び、図面からプログラミング作成、加工まで、一連の作業の流れについても併せて習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・ NC旋盤の機構/NC旋盤による加工適用例
- ② 各種機能とプログラム作成方法
 - ・ F機能/S機能/T機能/M機能/G機能
 - ・ 各種機能の適用方法/ノーズR修正/複合固定サイクル
- ③ プログラミング課題実習
 - ・ 安全作業の確認/操作盤の使い方/ツーリングとワークセッティング
- ④ 加工の検証と評価(総合課題実習)
 - ・ 課題の提示/加工工程/加工条件の検討
 - ・ プロセスシート他の作成/プログラミング
 - ・ プログラムチェック/テストカット/加工
 - ・ 評価/測定/プログラム改善点の検討
- ⑤ まとめ

対象者

NC旋盤作業等の業務に従事されている方

持参品

長袖作業服、安全靴、安全靴、筆記用具

使用機器

NC旋盤(中村留S C-250型[FANUC])、データ入力装置、各種切削工具、各種測定器

コース番号	日程
M021B	12/ 7(月) ~ 12/11(金)

受講者の声

- Gコードの使い方や活用方法が身に付いた。
- 段取りや加工について、なぜそうなるのか、理由を理解しながら作業できるようになった。
- プログラム内容について理解することができたと思う。刃物がどのように動くのか、イメージできるようになったのが良かった。
- 現場経験からの知識のみで作業しているため、理論的に考えることができたようになった。



カスタムマクロによるNCプログラミング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	3日	18時間	9:15~16:00	21,000円

◆マニュアルプログラミングを中心としたコースです

訓練内容

NC機械加工の生産性の向上をめざして、効率化に向けたプログラム作成実習を通して、NCのカスタムマクロを理解し、段取りや加工を効率的に行うためのプログラミングの手法を習得するコースです。

- ① コース概要及び留意事項
- ② カスタムマクロとは
 - ・ NC機械のカスタマイズの必要性和方法
 - ・ 変数の種類と使用法、各種関数の使用法
 - ・ カスタムマクロチェックのためのNC機の設定方法
- ③ プログラムの機能
- ④ システム変数
- ⑤ マクロプログラミングの呼び出し方法
- ⑥ その他の機能と注意点
- ⑦ まとめ

対象者

マシニングセンタ作業等の業務に従事されている方

持参品

長袖作業服、安全靴、安全靴、筆記用具

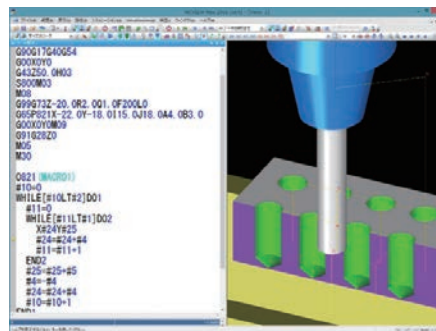
使用機器

マシニングセンタ(ヤマザキマザックFJV200-II)、データ入力装置、各種切削工具、測定機器

コース番号	日程
M008A	2/17(水) ~ 2/19(金)

受講者の声

- カスタムマクロの使い方が理解できた。
- 今まで意味が分からず使っていたことが理解できるようになって良かった。





マシニングセンタ加工技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	4日	24時間	9:15～16:00	22,000円

◆マシニングセンタによる輪郭加工を中心としたコースです

訓練内容

マシニングセンタでの加工作業の中で、エンドミルの輪郭加工を中心とした講習です。主な内容としてはNC工作機械の概要を学び、マシニングセンタ作業で必要となるプログラミング技術について習得します。また、加工課題をもとに工具長補正・径補正・機械操作・A T C等について学び、図面からプログラム作成、加工まで一連の流れについても併せて習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・マシニングセンタの機構/マシニングセンタによる加工適用例
- ② 段取り作業のポイント
- ③ プログラミングの短縮(固定サイクルの活用など)
- ④ 加工課題実習
 - ・課題の提示/加工工程/加工条件の検討
 - ・プロセスシート他の作成/プログラミング
 - ・プログラムチェック/加工 評価/測定/プログラム改善点の検討
- ⑤ 改善のための確認・評価
- ⑥ まとめ

※NCコードを主とした講習であり、マザトロールに関する内容は行いませんのでご注意ください。

対象者

マシニングセンタ作業等の業務に従事されている方、『マシニングセンタプログラミング技術』(M022A)を受講された方、または同程度の知識・技能をお持ちの方

持参品

長袖作業服、安全帽、安全靴、筆記用具

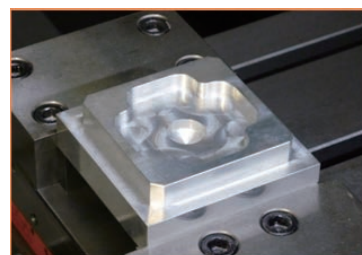
使用機器

マシニングセンタ(ヤマザキマザック FJV200- II)、データ入力装置、各種切削工具、測定機器

コース番号	日 程
M023A	10/ 6(火) ～ 10/ 9(金)

受講者の声

- 独学で学んだことの復習と一般的なプログラムの作成様式を学ぶことができた。
- マシニングのプログラムが組めるようになった。4日間集中して勉強できたから。



Topics

このコースと続けて受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「穴加工の最適化技術」M024A

穴加工の最適化技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	4日	24時間	9:15～16:00	26,000円

◆マシニングセンタによる穴加工を中心としたコースです

訓練内容

マシニングセンタでの加工作業の中で、穴あけ加工を中心とした講習です。主な内容としては、固定サイクル(ドリル、ザグリ、タップ等)・サブプログラム・工具設定等を習得します。また、加工課題をもとに、図面からプログラム作成、加工まで一連の流れについて習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・マシニングセンタの機構/マシニングセンタによる加工適用例
- ② 穴加工用工具の各種特性
 - ・ドリル、エンドミル、ボーリング、メネジ加工(タップ、ねじ切りカッター)
- ③ 加工精度への影響と対策
- ④ 総合課題実習(穴加工実習)
 - ・課題の提示/加工工程/加工条件の検討
 - ・プロセスシート他の作成/プログラミング
 - ・プログラムチェック/加工 評価/測定/プログラム改善点の検討
- ⑤ まとめ

※NCコードを主とした講習であり、マザトロールに関する内容は行いませんのでご注意ください。

対象者

マシニングセンタ作業等の業務に従事されている方、『マシニングセンタ加工技術』(M023A)を受講された方、または同程度の知識・技能をお持ちの方

持参品

長袖作業服、安全帽、安全靴、筆記用具

使用機器

マシニングセンタ(ヤマザキマザック FJV200- II)、データ入力装置、各種切削工具、測定機器

コース番号	日 程
M024A	2/ 2(火) ～ 2/ 5(金)

受講者の声

- 新たなプログラムの作成手順を知ることができました。
- 普段使用することができない機械を使用することができて役立ちました。



Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「マシニングセンタ加工技術」M023A

プレス加工技術

定員

8名

日数

2日

時間

12時間

時間帯

9:15～16:00

受講料(税込)

17,500円

◆プレス加工についてのスキルアップに役立つコースです

訓練内容

プレス加工／プレス金型の生産性の向上を目指して、プレス加工実習、分析演習を通して、トラブル要因の分析方法と加工製品の品質の安定・改善方法を取得します。

- ① 概要
 - ・訓練目的及びコース概要／専門能力の確認／安全作業
- ② プレス加工法
 - ・せん断加工の現象 ・曲げ加工の現象 ・絞り加工の現象
 - ・プレス機械と周辺装置が原因となる不良現象
- ③ プレス加工実習
 - ・せん断加工 ・曲げ加工 ・絞り加工
- ④ プレス加工品のトラブル分析
 - ・要因分析 ・対策法
- ⑤ まとめ

対象者

プレス生産、金型設計に従事する方

持参品

長袖作業服、安全帽、安全靴、保護メガネ、筆記用具

使用機器

塑性加工試験機、実験用金型、圧力試験機、スクライブド・サークルテスト器具一式

コース番号	日 程
M009A	12/ 2(水) ～ 12/ 3(木)

受講者の声

- 専門的な知識や技能を学ぶことができた。
- 今まで細かい名前など知らなかったが今回いろいろ知ることができた。
- 独学で学んだことが理論的に分かることができた。



プラスチック射出成形品の設計

定員

15名

日数

3日

時間

18時間

時間帯

9:15～16:00

受講料(税込)

16,500円

◆プレス加工についてのスキルアップに役立つコースです

訓練内容

金型製作や射出成形加工などのプラスチック射出成形品の特徴を考慮に入れた、機械部品や機能部品の設計に必要な技能・技術を習得します。

- ① 部品設計に必要な関連知識
 - ・プラスチック成形材料
 - ・射出成形加工と成形不良
- ② 部品の設計
 - ・金型製作を考慮に入れた成形品の設計
 - ・成形できるように考えた成形品の設計
 - ・強度上のトラブルの起こらない成形品の設計
 - ・寸法精度を向上させる成形品の設計
 - ・成形品設計の手順
- ③ 射出成形実習
 - ・アクリル射出成形金型の分解／組立
 - ・射出成形実習
- ④ まとめ

対象者

プラスチック部品設計業務や射出成形金型設計業務に携わっている方、関連業務に従事される方

持参品

筆記用具、関数電卓

使用機器

射出成形機

コース番号	日 程
M010A	10/14(水) ～ 10/16(金)

受講者の声

- ほとんど知識のない状態で参加したが、全て理解できるよう話していただき、専門的な単語もなく伝わるような言い回しで話してくださり、とても分かりやすかったです。実物を見せていただけたので、非常に理解が深まりました。
- 製品立上げの際に、提案の幅が広がりました。
- 実際に設計業務を行う前に注意点や金型加工の気配り等考えることが出来そうだと思います。



実践機械製図

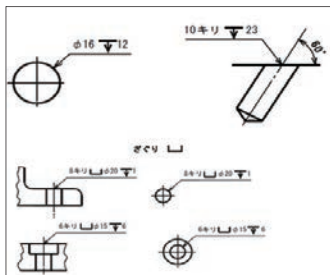
定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	4日	24時間	9:15～16:00	30,000円

◆JIS に準じた各基準や寸法公差等に関する知識・技能を習得するコースです

訓練内容

機械設計図に必要な JIS 規格と読図、表記の方法、機械設計製図のポイントについて、作図を通して習得します。

- ① コース概要
- ② 製図一般
- ③ 機械製図上の留意事項
 - ・図の表し方（三角法、補足の投影図、断面図）
 - ・寸法記入
 - ・寸法公差について
 - ・面の肌の指示法
 - ・幾何公差
 - ・ねじの表し方
- ④ 製図総合課題
 - ・実践的設計図面の描き方
 - ・課題図の作成
- ⑤ まとめ



対象者

機械設計製図関連の業務に従事されている方

持参品

筆記用具

使用機器

製図用具一式、製図モデル、関数電卓

コース番号	日程
M031C	11/10(火) ～ 11/13(金)
M031D	2/16(火) ～ 2/19(金)

受講者の声

- 図面の描き方をより詳しく学びました。見たことない記号などについての知識も得られることができて良かったです。
- 寸法の付け方等、今まで社内図面を参考に、その都度、先輩に聞きながらでしたが、正確な知識を勉強し直せて参考になった。
- 実際に製図することで、いろいろなことを考えて図面を描く必要性があると学べた。
- ルールが昔よりも改定されており、新しい現状のルールを体系的に学ぶ良い機会でした。

実践機械製図

(機械保全担当者のためのスケッチ製図技術)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	3日	18時間	9:15～16:00	17,500円

◆スケッチ製図に関する知識・技能を習得するコースです

訓練内容

生産設備の性能を維持、または破損した部品を直す際に必要な機械部品のスケッチ製図に関する知識・技能を取得します。

- ① コース概要
- ② 製図一般
- ③ スケッチの目的とその方法
 - ・スケッチ時の注意事項
 - ・寸法の測定と記入方法
 - ・表面粗さの決定方法
 - ・幾何公差について
 - ・部品の破断面について
- ④ 製図課題
 - ・図面の描き方
 - ・課題図の作成（回転軸のスケッチ製図）
- ⑤ まとめ



対象者

機械保全業務に従事されている方

持参品

筆記用具

使用機器

製図用具一式、測定器具（ノギス、マイクロメータ）、分解組立用工具一式

コース番号	日程
M033A	2/ 2(火) ～ 2/ 4(木)

- 図面の見方がよくわからなかったが、今回の研修で描き方と見方を知ることができた。
- はめあいや公差に関して再確認する良い機会を得られた。



New 実践機械製図（形状編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	2日	15時間	9:15～17:30	17,000円

◆ 機械製図作業のうち、形状を中心に扱うコースです

訓練内容

- ① 製図一般
 - ・ 図面の役割
 - ・ 製図規格の確認
 - ・ 投影法の確認
 - ・ 図面より立体形状の実践的把握
- ② 機械製図上の留意事項
 - ・ 製図立体モデルより2次元図面への効果的図示法（投影図の選択法、製造現場を意識した図形の配置方法）
 - ・ 2次元図面より製図立体モデルの実践的把握（立体モデルの把握方法、スケッチ手法）
- ③ 製図総合課題
 - ・ 組立図及び部品図の課題実習（組立図を基にした部品図の作成）
 - ・ 確認、評価
- ④ まとめ

対象者

設計・CAD業務に携わっている方、またはその候補の方

持参品

筆記用具

使用機器

製図用具一式

コース番号	日 程
M035A	12/10(木) ～ 12/11(金)

受講者の声

- 図面の描き方読み方、規則・規格を知ることができ、とても理解が深まりました。
- ねじの描き方をしっかりと学んだ事が無かったため、勉強になりました。
- 製図に関して初めてなので色々分からない所が多かったが、とても勉強になりました。

Topics

このコースの後に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「実践機械製図（寸法編）」 M036A

New 実践機械製図（寸法編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	2日	15時間	9:15～17:30	13,500円

◆ 機械製図作業のうち、寸法を中心に扱うコースです

訓練内容

- ① 製図一般
 - ・ 図面の役割
 - ・ 製図規格の確認
- ② 機械製図上の留意事項
 - ・ 加工を考慮した効果的寸法記入法（寸法記入の留意点、特殊形状への寸法記入法）
 - ・ 機能上の要求に基づく公差記入法（サイズ公差の考え方、はめあいにおける公差等級と公差域について、幾何公差の定義とその解釈）
 - ・ 製品性能と表面性状（表面性状のパラメータ、表面性状の要求事項の指示方法）
- ③ 実践的製図図面の描き方
 - ・ 事例から学ぶ設計製図（製図事例）
- ④ 製図総合課題
 - ・ 組立図及び部品図の課題実習（組立図を基にした部品図の作成）
 - ・ 確認、評価
- ⑤ まとめ

対象者

設計・CAD業務に携わっている方、またはその候補の方

持参品

筆記用具

使用機器

製図用具一式

コース番号	日 程
M036A	3/18(木) ～ 3/19(金)

受講者の声

- JISに基づく知識を学ぶことができ、仕事にも活かせそうです。
- 実際に図面を作成するときに、役立つ技術を得られました。
- 寸法指示の方法や幾何公差の内容を学べてよかったです。

Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「実践機械製図（形状編）」 M035A



機械設計のための総合力学

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	3日	18時間	9:15～16:00	23,000円

◆演習問題を通して、機械要素・材料力学等の知識および技能を習得するコースです

訓練内容

機械設計に必要な機械の力学（力、モーメント、ニュートンの法則、並進運動、回転運動等）や材料の強度（応力とひずみ、安全率と許容応力等）、また、機械要素設計（軸、転がり軸受、歯車等）に必要な力学全般について、専門用語の物理的意味を理解し、演習問題を通して公式の使い方を習得します。

- ① 強度設計の重要性和機械の力学
 - ・物理量とSI単位／力／運動
- ② 材料の強度
 - ・荷重・応力・ひずみ ・熱応力 ・金属材料の破壊と安全率
 - ・はりの曲げ ・座屈
- ③ 機械要素設計
 - ・軸のねじり ・軸の強さと軸の直径 ・キーの強度など
- ④ 課題及びまとめ

対象者

機械設計製図関連の業務に従事されている方

持参品

筆記用具（付箋、マーカーペン）、関数電卓

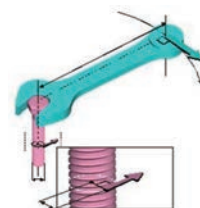
使用機器

関数電卓（貸出可）

コース番号	日 程
M032A	10/ 6(火) ～ 10/ 8(木)
M032B	3/ 9(火) ～ 3/11(木)

受講者の声

- 強度計算の結果について何を表しているか、理解を深めることができた。
- 今まで浅い知識しかなかった応力の考え方について非常に勉強になった（特に引張応力→材料選定の方法）。
- 材料の特性試験をする上で材料力学の部分で理解が深まった。
- 今まで自分で調べられる知識しかなかったが、今回のセミナーを受けて考える幅が広がった。



2次元CADによる機械製図技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	4日	24時間	9:15～16:00	26,000円

◆機械製図における2次元CADの活用による実践的な技術を習得するコースです

訓練内容

設計ツールとして2次元CADを使用し、図面作成実習を通して、CADの効果的・効率的使用方法及びデータ管理方法について習得します。

- ① コース概要
- ② 機械製図の留意事項
- ③ 製図効率を向上させるための準備
 - ・データ管理機能（テンプレート、ブロック、外部参照など）
 - ・CADの使い方（作図・編集機能） ・寸法記入と公差の考え方
 - ・線種の使い分けと出力設定
- ④ 実践課題（図面作成）
 - ・部分拡大図等を含む総合課題の提示 ・類似形状の有効活用
 - ・図面枠の有効活用
 - ・課題における作図方法の検討 ・図面作成
- ⑤ まとめ

※作業画面は、当センターでカスタマイズしたものを使用します。

対象者

CADシステムを使用した設計製図作業に従事されている方

持参品

筆記用具

使用機器

AutoCAD2024

コース番号	日 程
M041B	10/27(火) ～ 10/30(金)
M041C	11/24(火) ～ 11/27(金)

受講者の声

- 2DCAD について基本から学べた。仕事に活かせると感じた。
- 修理・改善の部品図や、設備レイアウト変更図を他人へ依頼していたが、自分で書けることにより仕事がスムーズになる。
- 会社でもCAD を使える人が少なく、皆が自己流だったので、より良い方法でCAD を使えるようになったと思う。

New 2次元CADによる機械製図技術（環境設定編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	9,000円

◆ 2次元CADで作図作業を行う上で必要となる各種環境設定を習得するコースです

訓練内容

2次元CADを使用して、効率的な図面作成を行うための【環境設定】【テンプレート作成】【印刷設定（モデル／レイアウト）】を実習を通して習得します。

- ① コース概要
- ② 機械製図の留意事項
- ③ 製図効率を向上させるための準備（テンプレート／印刷設定）
- ④ 実践課題（モデルでの印刷／レイアウトでの印刷）

対象者

「2次元CADによる製図技術（M041）」を受講された方、または同程度の知識・技能をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

AutoCAD2024

コース番号	日 程
M040A	12/15(火) ～ 12/16(水)
M040B	2/ 9(火) ～ 2/10(水)

受講者の声

- 環境設定は前任者が設定したまま使用していたが、自分で設定できる項目が増えた。
- 印刷はモデルでばかりしていたが、レイアウトを用いた印刷を使えるようになった。

Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「2次元CADによる機械製図技術」M041（P.18）

設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術

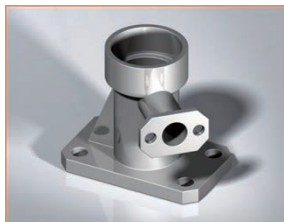
定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	4日	24時間	9:15～16:00	23,000円

◆ 3次元設計支援システムを効果的に活用し、モデル構築手順を習得するコースです

訓練内容

3次元CADの活用法について、ソリッドモデリングの実習を通して習得します。主に、3次元CADの概要、プリミティブ、ブーリアン演算、フィレット、パラメトリックモデリング、フィーチャ操作等を行います。

- ① コース概要
 - ・ 3DCAD概要
 - ・ 設計の流れと検証ツール
- ② モデリング時のポイント
- ③ モデリング手法
 - ・ 基準とスケッチの関係
 - ・ 1機能＝1フィーチャーを意識したモデリング
- ④ 設計検証
 - ・ アセンブリによる組立性の検証
 - ・ 図面展開による検証
- ⑤ 総合演習
- ⑥ まとめ



※ソフトウェアの操作方法を追求した内容ではありませんのであらかじめご了承ください。

対象者

製造業の仕事に従事し、CADの知識を有する方

持参品

筆記用具

使用機器

SOLIDWORKS 2023

コース番号	日 程
M042A	10/13(火) ～ 10/16(金)
M042B	1/19(火) ～ 1/22(金)

受講者の声

- 普段のモデリングではサーフェスしか使わなかったため、ソリッドで解決できるノウハウが身に付いた。
- ソリッドワークスで効率良く図面が書けるような操作方法を学べたと思う。
- 設計の効率化に繋がるような技術が学べた。

Topics

このコースと続けて受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「設計に活かす3次元CADサーフェスモデリング技術」M043（P.20）



New 3次元CADを活用したアセンブリ技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	17,000円

◆3次元設計支援システムを効果的に活用し、アセンブリ機能を習得するコースです

訓練内容

機械設計の新たな品質の創造又は製品を生み出すことをめざして、高付加価値化に向けたアセンブリ機能を活用した検証実習を通して設計検討項目の検証方法を習得します。

- ① 設計とは
 - ・製品設計とは
 - ・設計の流れと検証ツール
- ② アセンブリ
 - ・重要なモノから組み付ける
 - ・基準を明確にする
- ③ 検証ツールとアセンブリ3ヶ条
 - ・設計で重要な部分での着目点
 - ・アセンブリの基準とサブアセンブリ基準の関係
 - ・実習問題
- ④ 検証作業
 - ・モデルを活用した検証方法
 - ・アセンブリ機能を活用した検証方法
 - ・図面を活用した検証方法
- ⑤ まとめ

※ソフトウェアの操作方法を習得する内容ではありませんのであらかじめご了承ください。

対象者

「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術 (M042)」を受講された方、または同程度の知識・技能をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

SOLIDWORKS 2023

コース番号	日 程
M045A	10/22(木) ～ 10/23(金)

Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術」 M042 (P.19)

設計に活かす3次元CADサーフェスモデリング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	17,500円

◆3次元設計支援システムを効果的に活用し、サーフェス機能を習得するコースです

訓練内容

3次元CADの概要を理解し、ワイヤーフレームモデルからサーフェスモデル作成までの3次元CAD活用法について、実習を通して習得します。

主にサーフェスの種類、投影、面公差、面のフィレットやトリムの方法を行います。

- ① 3次元CAD概要
- ② 形状モデリング
 - ・サーフェスの種類と特徴
 - ・サーフェスのためのワイヤーフレーム
 - ・サーフェスの編集機能
- ③ 実モデリングにおける曲面作成実習
 - ・サーフェスの評価 (チェック)
 - ・サーフェスの接続
 - ・モデル構築方法によるトラブルと回避
- ④ まとめ



※ソフトウェアの操作方法を習得する内容ではありませんのであらかじめご了承ください。

※ソフトウェアの機能の関係で、曲面を持つソリッドの作成や編集を主に行います。

対象者

「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術 (M042)」を受講された方、または同程度の知識・技能をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

SOLIDWORKS 2023

コース番号	日 程
M043A	1/26(火) ～ 1/28(木)

受講者の声

- サーフェスを使ってどのようにモデリングを行うかのプロセスを学ぶことができた。
- 今まで使ったことがなかった手法を習得でき、より複雑なモデルが作れるようになった。
- 今までできなかったサーフェスモデリングによる形状作成ができるようになったと思います。

Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術」 M042 (P.19)

設計者 CAE を活用した構造解析

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	18,000円

◆ 3次元 CAD システムを使用し、CAE を活用した設計業務を習得するコースです

訓練内容

構造の効率化、適正化、最適化（改善）に向けて、有限要素法の特徴を理解し、モデル化、境界条件設定、メッシュ分割による解析実習などを通して、構造設計における線形構造解析の活用、結果の評価法等を習得します。

- ① コース概要
- ② 設計と構造解析概論
 - ・設計とCAE
 - ・CAEの長所と短所
- ③ 有限要素法とは
 - ・有限要素の特徴
 - ・解析結果の精度
- ④ モデル化、ズームング手法、形状の簡略化と精度
- ⑤ 各種物理現象
- ⑥ ソルバとは 計算処理について
- ⑦ 課題演習（穴あき平板モデル、H形鋼の梁モデル）
- ⑧ まとめ

対象者

「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術（M042）」を受講された方、または同程度の知識・技能をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

SOLIDWORKS 2023

コース番号	日 程
M044A	10/21(水) ～ 10/23(金)

- CAE 解析における拘束の方法について学ぶことができたから。
- 演習を行うことで CAE の実用的な活用方法について学べました。
- CAE を初めて使ったので操作方法が分かった。また、条件設定により違う結果が得られるため、正しく条件を設定するための、知識の必要性を感じた。

Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術」M042 (P.19)

油圧実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	18,000円

◆ 基礎知識から実機制御回路の動作特性まで実践的なスキルを身に付けるコースです

訓練内容

油圧機器の取扱い方、各種油圧機器の分解・組立、油圧回路の見方と配管方法について、油圧回路作成実習を通して習得します。

- ① 油圧の概要
- ② 油圧システムの機械要素
(油圧ポンプ、制御弁、アクチュエータ、周辺機器)
- ③ 油圧課題実習
 - ・実機を想定した実用課題の提示（グループ毎に異なる課題提示）
 - ・圧力制御回路／流量制御回路／順次動作回路
 - ・課題回路の作成（実習装置による回路作成）
 - ・作成回路の評価（試運転による問題点の抽出）
- ④ まとめ

対象者

油圧装置の運転や保全業務などに従事されている方

持参品

長袖作業服（上着）、安全帽、筆記用具

使用機器

油圧トレーニングキット、油圧機器カットモデル

コース番号	日 程
M052B	3/ 2(火) ～ 3/ 4(木)

受講者の声

- 油圧回路の図記号や各機器の動作原理を理解できました。
- 油の回路図や現物を見ることはあったが、実際の細かい仕様など知らなかったのが良かった。
- ある程度理解はあったが、実際に機器の分解や配管の組立てを行ったことはなかったため、実習の経験ができて良かった。
- 職場で得られた経験を理論的に整理する時間ときっかけが得られた。





空気圧機器の保全

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	18,000円

◆空気圧機器の全空圧制御技術と機器の特性を学ぶコースです

訓練内容

空気圧記号、機器の構造と動作原理を理解し、空気圧機器の制御法を学び、実用的な空気圧回路の作成方法を習得します。

- ① コース概要及び留意事項
- ② 空気圧機器の保守管理の概要
 - ・空気圧概論、空気圧源装置、
 - ・空気圧機器の種類・構造・特徴
 - ・シリンダ、方向切替弁、速度制御弁
 - ・フィルタ・レギュレータ・ルブリケータ
 - ・速度制御弁
- ③ トラブルの原因分析と対策
- ④ 機器の故障診断実習
- ⑤ 全空気圧回路実習

対象者

空気圧装置の運転や保全業務などに従事されている方

持参品

長袖作業服（上着）、安全帽、筆記用具

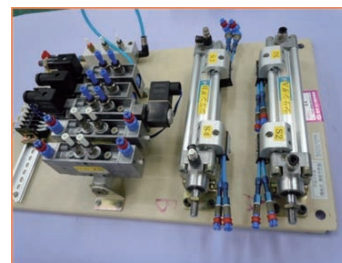
使用機器

空気圧実習装置、カットモデル、トラブルシューティング用機器

コース番号	日 程
M053B	12/ 1(火) ～ 12/ 3(木)

受講者の声

- 空気圧の構造や仕組みなど分解して学ぶことができ、知識が深まりました。
- 空気圧機器の分解等を行って構造を理解することができたため。エア漏れのムダを自職場でも見つけ出し、コスト削減させたい。
- 圧縮空気の実用方法や現場の改善に繋がる知識が深まった。



空気圧機器の保安全管理とトラブル対策

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	18,000円

◆空圧システムのトラブル対策とメンテナンス方法を学ぶコースです

訓練内容

機械設備で使用されている空気圧機器（シリンダ、ロッドレスシリンダ、方向制御弁）等の保守方法、制御系トラブルの原因追跡方法とその対策について、実習を通して習得します。

- ① コース概要及び留意事項
- ② 空気圧システム構成
- ③ 機器の保安全管理とトラブル対策
- ④ 機器の保守点検作業実習
 - ・F・R・Lユニットの保全、方向制御弁の保全
 - ・アクチュエータ、シール
- ⑤ 空気圧システムの安全確保
- ⑥ まとめ

対象者

機械及び生産設備の保全に従事されている方

持参品

長袖作業服（上着）、安全帽、筆記用具

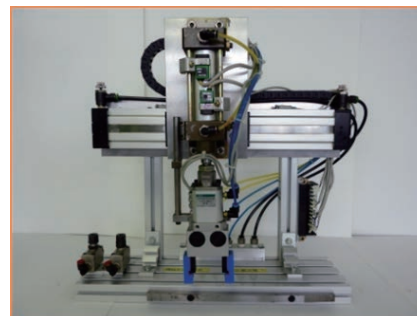
使用機器

各種空気圧機器、空気圧機器カットモデル

コース番号	日 程
M054A	2/16(火) ～ 2/18(木)

受講者の声

- エア空圧機器の詳細な仕組み、または保全時の修繕や、より効率的な作業方法の一端を知ることができた。工場の省エネに役立てると考えた。
- 知らない内容や仕事に直結する内容が多く、トラブル時の対応等、すぐにでも役立つものが多かった
- 空気圧機械を多く使用しているので、エア漏れなどの改善に役立てると思った。



生産設備診断技術（回転機械編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	18,500円

◆ 回転機械系保全の知識を深め、実習を通して的確な技術を得るコースです

訓練内容

コンベヤの駆動モデルを使用し、機械要素の知識を深め、軸継ぎ手のしん出し方法について、減速機及びモータの分解組立の実習を通して習得します。

- ① コース概要及び留意事項
- ② 設備管理概要
- ③ 軸受、軸継ぎ手、歯車について
- ④ 設備診断実習
 - ・コンベヤモデルの分解前振動測定、運転音の確認
 - ・駆動部の分解、減速機の分解、軸受の取外し
 - ・はめあい確認、歯車のモジュール測定
 - ・軸受の組付け（圧入、焼きばめ）、減速機の組立て
 - ・電動機の分解組立て、絶縁測定
 - ・軸継ぎ手のしん出し作業
 - ・歯付きベルト等のテンション調整
 - ・試運転（振動、音の確認）
- ⑤ まとめ

対象者

機械及び生産設備の保全に従事されている方

持参品

長袖作業服（上着）、安全帽、筆記用具

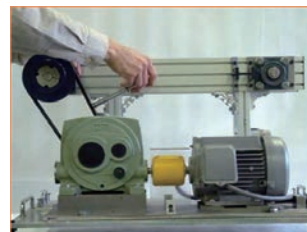
使用機器

振動計、振動測定実習装置、潤滑油サンプル、各種測定器、AE センサ

コース番号	日 程
M057B	12/ 8(火) ～ 12/10(木)

受講者の声

- 装置提案する設計にあたり、機器の構造や動きを実際に部品を手にとったり、分解することで学ぶことができた。
- 芯出しの手順と適正値の計測を理論から理解できたので、OJT 制度に繋がると感じた。
- 自社でモーターのメンテナンスを頻繁に行っていた理由がよくわかりました。正しい知識の基、モーターを組立てていなかったことが、よく故障する原因だと知ることができました。



油圧システムの保全技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	3日	18時間	9:15～16:00	23,500円

◆ 油圧システム保全の知識を深め、実習を通して的確な技術を得るコースです

訓練内容

油圧システムを構成する機器の機能や用途を理解して、油圧回路のトラブル時の原因追究法と制御系トラブルの対策方法について習得します。

- ① コース概要及び留意事項
- ② 油圧システムにおけるトラブル概要
- ③ 構成機器の構造・動作原理
- ④ 構成機器の分解組立・特性実習
- ⑤ 実用回路とトラブル対応実習
 - ・抵抗負荷実習
 - ・垂直負荷実習
 - ・動作不具合からのトラブルシューティング
 - ・原因の予測と分解確認実習
 - ・正常動作確認実習
- ⑥ まとめ

対象者

機械及び生産設備の保全に従事されている方

持参品

長袖作業服（上着）、安全帽、筆記用具

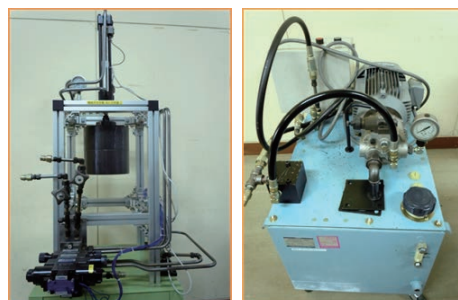
使用機器

油圧実習装置、カットモデル、分解用ポンプ・バルブ

コース番号	日 程
M060A	11/17(火) ～ 11/19(木)

受講者の声

- 油圧機器の構造を知ることができた。
- 油圧に関することはもちろん、シーケンス制御について知識が深まった。
- 実際に機械を分解することで構造をはっきりと理解することができ、机上の理論プラス実体験を得ることができたので、大変勉強になった。





半自動アーク溶接技能クリニック

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	2日	12時間	9:15～16:00	25,000円

◆理論から実技まで半自動アーク溶接のスキルアップに役立つコースです

訓練内容

炭酸ガスアーク溶接作業の各種姿勢における施工条件を把握し、実習を通して知識・技能を習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門能力の確認
 - ・問題発見へのプロセス
 - ・安全上の留意事項
- ② 溶接技術
- ③ 溶接実習
 - ・各種溶接姿勢による溶接条件
 - ・水平すみ肉、突合せ溶接での検証
 - ・ソリッドワイヤ法とフラックス入りワイヤ法の比較
- ④ 評価と問題点
- ⑤ 成果の確認

対象者

半自動溶接作業に従事する技能・技術者の方、またはその候補となる方

持参品

長袖作業服、安全帽、安全靴、筆記用具

使用機器

半自動アーク溶接装置一式、安全保護具一式、器具一式、各種試験装置



コース番号	日 程
W002B	10/ 8(木) ～ 10/ 9(金)

受講者の声

- 今まで先輩の見よう見まねでやっていたが、今回の講義で理解が深まった。
- 実技を行っている際、的確なアドバイスを頂き、向上させることができた。
- 電流・電圧など溶接条件によってなぜそうなるのか理由を細かく教育してくれた。
- 自分の技術の見直しができた。
- 「何となく」を可視化でき、理解が深まった。
- 作業時、上手に溶接できなかった部分など、対処方法が分かった。

ステンレス鋼のTIG 溶接技能クリニック

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	2日	12時間	9:15～16:00	25,000円

◆理論から実技までTIG 溶接のスキルアップに役立つコースです

訓練内容

ステンレス鋼 TIG 溶接における施工要領について、材料の種類、特性、溶接材料の選定、溶接条件の設定等を各種実践的な継手の実習を通して習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門能力の確認
 - ・問題発見へのプロセス
 - ・安全上の留意事項
- ② TIG 溶接概要
- ③ 溶接実習
 - ・ステンレス鋼の各種の姿勢V形突合せ溶接
 - ・適正条件の把握の確認
- ④ 総合課題実習
 - ・諸因子の影響／欠陥の原因と対策／製品の評価方法
 - ・溶接作業者に対する技術的指導・育成方法
- ⑤ 成果の確認



対象者

TIG 溶接作業に従事する技能・技術者の方、またはその候補となる方

持参品

長袖作業服、安全帽、安全靴、筆記用具

使用機器

TIG 溶接装置一式、安全保護具一式、器具一式

コース番号	日 程
W003C	1/28(木) ～ 1/29(金)

受講者の声

- 一人一台の溶接機を使い、二日間しっかり学習できた。忘れない内に自社の装置で再現し活用したい。
- 座学で基礎を学べ、実践にて更に知識を深められた。
- 会社では学べなかったことが、ここで学ぶことができました。
- 今までの勤でやっていたことが知識も伴うようになった。

金属材料の熱処理技術

定員

8名

日数

2日

時間

12時間

時間帯

9:15～16:00

受講料(税込)

22,500円

◆ 熱処理時に発生する問題点を把握し施工管理の知識・技術を身につけるコースです

訓練内容

金属材料の特性と熱処理方法や表面硬化法等を学び、それらの処理時に発生する問題点の把握及び施工管理の知識・技能を習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・ 訓練の目的
 - ・ 専門能力の確認
 - ・ 問題発見へのプロセス
 - ・ 安全上の留意事項
- ② 鉄鋼材料と熱処理
- ③ 熱処理法
- ④ 金属材料
- ⑤ 熱処理作業実習
 - ・ 焼き入れ実習
 - ・ サブゼロ処理
 - ・ 浸炭焼き入れ
 - ・ その他
- ⑥ トラブル対策
 - ・ 焼き割れの原因と対策
 - ・ ひずみの発生と対策
 - ・ 脱炭と酸化
 - ・ 非破壊検査その他
- ⑦ 成果の確認

対象者

各種材料の熱処理及び表面硬化等の作業に従事する技能・技術者の方、またはその候補となる方

持参品

長袖作業服（上着）、安全帽、安全靴、筆記用具

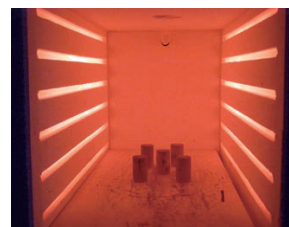
使用機器

金属顕微鏡、熱処理炉、各種硬度計、検査機器

コース番号	日 程
W007B	2/ 4(木) ～ 2/ 5(金)

受講者の声

- 特徴と原理が分かりやすかったです。具体的に何に使われているか一般的なのか、価格などもイメージしやすく業務使えそうかどうか考えることができました。
- 材料（素材）の違い、熱処理の違いを実技・実験を用いて学ぶことができた。
- 組織の変化により硬度、じん性等性質が変化することが理解できた。
- 熱処理の詳細が分かったため設計に活かそうです。



ハロートレーニング



有接点シーケンス制御の実践技術

シーケンス制御回路の読み方、配線方法の習得におすすめです

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
12名	2日	12時間	9:15～16:00	12,500円

◆実際に回路を組立てながら配線・点検・トラブル対策を身につけるコースです

訓練内容

有接点シーケンス回路の設計・製作方法について、実際の回路組立作業（ON-OFF、自己保持、タイマ等）の実習を通して習得します。

- ① 概要
 - ・有接点シーケンス制御の概要
 - ・電気用図記号、機器記号及び機能記号等
- ② 回路計（テスタ）の使い方
- ③ 各種制御機器の種類
- ④ 有接点シーケンス回路の設計
- ⑤ 有接点シーケンス回路の製作課題
 - ・配線作業、点検及び試運転
- ⑥ まとめ

対象者

有接点シーケンス制御回路に関わる設計・施工・保全等に従事し、今後職場において重要な役割を担う方、またはその候補となる方
他の上位セミナーの前提知識を身につけたい方

持参品

筆記用具、長袖作業服

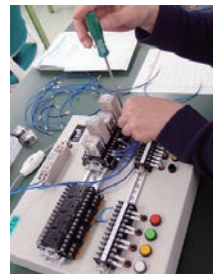
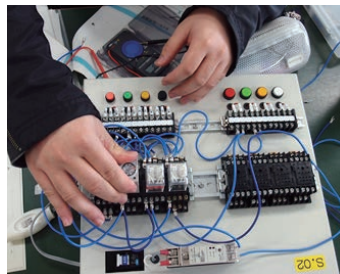
使用機器

リレーシーケンス制御実習盤（リレー、タイマ等）、回路計（テスタ）、工具 等

コース番号	日 程
E001E	10/14(水) ～ 10/15(木)
E001F	12/ 9(水) ～ 12/10(木)
E001G	2/ 3(水) ～ 2/ 4(木)

受講者の声

- 業務において制御回路（インターロックなど）の知識が必須のため。リレーの構造など基礎から学べて良かった。
- 初めて教わったシーケンス制御を分かりやすく学ぶことができた。
- これまでは書籍やウェブサイトで学習していたが、イメージがつかないことが多かった。本実習で実際に作業を行うことで、理論と実際のイメージをリンクすることができた。
- PLC技術を身に付ける前準備をすることができた。ラダー図が少し読めるようになりステップアップするのに有効である。



シーケンス制御による電動機制御技術

三相誘導電動機のシーケンス制御、配線方法の習得におすすめです

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	14,500円

◆ 電動機の原理を理解し、シーケンス制御による制御方法を習得するコースです

訓練内容

有接点シーケンス制御による電動機運転回路の設計・保守管理について、回路組立作業（直入れ運転、正転逆転運転等）の実習を通して習得します。

- ① 電動機の種類と概要
- ② 直入れ運転回路
- ③ 寸動運転回路
- ④ 可逆運転回路（正転・逆転運転回路）
- ⑤ 各種電動機制御回路の製作課題
配線作業、点検及び試運転
- ⑥ まとめ



対象者

「有接点シーケンス制御の実践技術」(E001)を受講された方、または同等の技能を習得されている方で、制御回路の設計・施工または、保守・保全等に従事し、その役割を担う方、またはその候補となる方

持参品

筆記用具、長袖作業服

使用機器

リレーシーケンス制御実習盤（リレー、タイマ等）、工具、三相誘導電動機、回路計（テスタ）、クランプメータ 等

コース番号	日 程
E002B	2/24(水) ～ 2/25(木)

受講者の声

- 部分的に理解していたが、それらが繋がった感覚を得ました。実際に配線したことで配線の技術が身に付きました。
- 電動機制御を伴う機械設計は業務上必要となるが、よくわからない部分があった。改めて学ぶことができ、理解が深まった。
- 電気機器部品に触れ、配線を行い、動作確認まで実施することができた。制御を実感できた。



電気系保全実践技術

自動装置、制御盤などの保全作業に携わる方におすすめです

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	13,500円

◆ 電気設備の施工・保守・点検を学ぶコースです。機械保全、電気系保全作業に役立つ内容になっています

訓練内容

シーケンス制御設備（リレー、PLC）における保全技術、故障診断、復旧作業について、配線作業・点検作業等の実習を通して習得します。

- ① シーケンス制御の概要
- ② 制御機器に生じる不良の要因
- ③ リレーの欠陥の選定方法
- ④ 故障の発見方法と復旧
- ⑤ シーケンス回路の復旧課題
- ⑥ PLC の取扱い方法



対象者

「有接点シーケンス制御の実践技術」(E001)を受講された方、または同等の技能を習得されている方で、電気関係の保全業務に従事し、電気系修理を担う方、またはその候補となる方

持参品

筆記用具、長袖作業服

使用機器

シーケンス制御実習盤（リレー、タイマ、PLC 等）、回路計（テスタ）、工具 等

コース番号	日 程
E003A	10/28(水) ～ 10/29(木)
E003B	2/ 9(火) ～ 2/10(水)

受講者の声

- 職場では少し触れるくらいで中々携わることがないが、電気トラブルや改善が求められるので、技術を深めることができた。
- テスタでの回路の確認の仕方がこれまでよく分からなかったが理解できた。今回の講習でかなり実践的な内容を知ることができた。
- リレー、タイマ、PLC の実機を操作でき、知識が得られたと感じました。
- シーケンス制御の電動機制御につながる要点を説明して頂けたので、興味を持ってスムーズに進められました。



実践的PLC制御技術<ビット命令編>

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	11,500円

◆リレーシーケンスからのステップアップをめざすコースです

訓練内容

PLCに関する知識・回路作成(ビット命令)・変更法について、I/O配線、PLCラダーサポートソフトによるモニタを含めた操作方法及びプログラミング実習を通して習得します。



- ① 概要
 - ・シーケンス制御、PLC制御の概要
 - ・PLCの構成
 - ・プログラミング
- ② PLCの運用
- ③ 回路技術
- ④ 回路命令
- ⑤ 総合実習
 - ・歩行者信号機回路
- ⑥ 確認・評価

Topics

このコースの後に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
[PLC制御の応用技術<応用命令編> E006]

対象者

PLC回路設計業務に従事し、今後職場において重要な役割を担う方、またはその候補となる方

持参品

筆記用具

使用機器

Q02H(三菱電機Qシリーズ)、パソコン、リレー、スイッチ、工具 等

コース番号	日程
E005C	10/ 7(水) ~ 10/ 8(木)
E005D	12/16(水) ~ 12/17(木)
E005E	1/13(水) ~ 1/14(木)

受講者の声

- 全て独学でやっている状態だったので、セミナー受講で専門的な知識が身につきました。
- 自社の機械でも同様の道具を用いており、制御について知ることができました。
- 全く知らないPLCについて新たに知ることができました。
- 回路作成時に考えがまとまらないことが多かったが、今回の講習で教えていただいたこと実践してみようと思います。

PLC制御の応用技術<応用命令編>

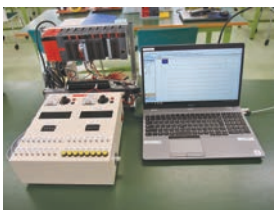
PLCの応用命令を用いたプログラミングを学びたい方におすすめです

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	11,000円

◆応用命令を用いたPLCのプログラミング技術を身につけるコースです

訓練内容

PLC応用命令(ワード命令)について、データ転送命令を使つての数値データの出入力方法を中心に、比較命令、演算命令等を活用したリレーシーケンス制御ではできない実践的なプログラミング方法を習得します。



- ① 概要
 - ・PLC制御について
 - ・数値データの取扱い
- ② 応用命令
- ③ 総合実習
 - ・入力処理
 - ・演算・比較・制御処理
 - ・出力処理
- ④ まとめ

対象者

PLC回路設計業務に従事し、今後職場において重要な役割を担う方、またはその候補となる方

持参品

筆記用具、作業できる服装

使用機器

Q02H(三菱電機Qシリーズ)、パソコン、リレー、スイッチ、負荷装置、工具 等

コース番号	日程
E006B	1/27(水) ~ 1/28(木)

受講者の声

- ラダー回路を解読することがあるため、理解に繋がりました。
- PLC制御についての知識が深まりました。特に応用命令はよくわかりました。
- 実際に試し、目に見える形であるため理解しやすかったです。

Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
[実践的PLC制御技術<ビット命令編> E005]

PLC によるタッチパネル活用技術

タッチパネルの基本的な作画・運用方法について学びます

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	13,500円

◆ 初めてタッチパネルの作画を行う方やタッチパネルに係るメンテナンス・改善に携わる方に最適なコースです

訓練内容

FA ラインなどで利用されているタッチパネル（三菱 GOT シリーズ）の作画方法および、PLC（三菱 Q シリーズ）との接続方法、デバイス設定方法などについて習得します。

- ① 概要
 - ・タッチパネルの概要と特徴、用途
 - ・各種接続形態
- ② 画面設計
 - ・数値表示／数値入力
 - ・コメント表示
 - ・画面切り替え
- ③ 総合実習（ミニコンベアライン装置の制御）
 - ・確認・評価

対象者

『実践的 PLC 制御技術〈ビット命令編〉』（E005）を受講された方、または同程度の知識・技能をお持ちの方、さらに『PLC 制御の応用技術〈応用命令編〉』（E006）を受講された方、または PLC の応用命令がわかる方が望ましい

持参品

筆記用具、作業できる服装

使用機器

タッチパネル（三菱電機社製 GOT シリーズ）、PLC（三菱電機 Q シリーズ）、パソコン、工具 等

コース番号	日 程
E007B	1/20(水) ～ 1/21(木)

受講者の声

- PLC によるタッチパネル活用術は初見だったが、大変勉強になりました。
- タッチパネルの作画は初めてでしたが、分かりやすく実践的に学ぶことができ、活用技術を身に付けることができました。
- タッチパネルの編集方法を学んだことで、現場の作業改善に取り組むことができる。



PLC によるインバータ制御技術

PLC と汎用インバータの接続、プログラミング方法の習得におすすめです

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	12,500円

◆ PLC によるインバータ制御プログラミングを主体に学びたい方向けのコースです

訓練内容

自動化システムの検討・保守業務における効率化・最適化を目指して、PLC によるインバータ制御の方法と実践的な生産設備設計の実務を総合実習により習得します。

- ① インバータ概要
 - ・三相誘導モータの動作原理
 - ・インバータの原理及び利用方法
 - ・各種パラメータの意味と設定
 - ・インバータ単独運転による汎用モータ制御実習
- ② PLC プログラミング
 - ・PLC との接続
 - ・環境設定
 - ・PLC プログラミング技術
 - ・インバータによる可変速制御実習
- ③ 総合実習
 - ・PLC によるインバータ制御回路設計実習
 - ・単純始動の制御実習／正転・逆転制御実習／可変速運転制御実習
 - ・試運転・デバッグ・メンテナンス
- ④ まとめ

対象者

実践的 PLC 制御技術〈ビット命令編〉』（E005）を受講された方、または同等の知識を有する方で、効率化・最適化に寄与するインバータの知識・技術の習得・向上を目指す方

持参品

筆記用具、長袖作業服

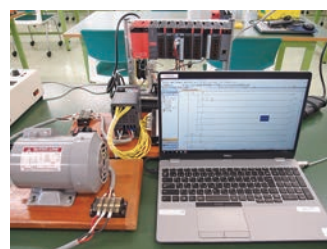
使用機器

PLC、パソコン、プログラミングツール、インバータ、三相誘導電動機、回路計（テスタ）、工具 等

コース番号	日 程
E004B	3/ 3(水) ～ 3/ 4(木)

受講者の声

- パラメータの詳細を理解でき、現場の改善に繋がられる。
- インバータについての知識が増え、自身の業務に活かせる内容であった。
- インバータの構造など、今まで曖昧であった部分の知識が納得できる知識にできた。
- PLC を用いてインバータ制御することで、省エネにもつながることを知り、導入拡大をしたいと思った。





New 自家用電気工作物の高圧機器技術

自家用電気工作物の保守・点検に携わる方におすすめです

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	18,500円

◆高圧電気設備の保守・点検を学ぶコースです。高圧機器操作等に役立つ内容になっています。

訓練内容

電気設備保全の現場力強化をめざして、高圧機器操作等の実習により、高圧電気設備の工事・維持および運用実務を効率よく安全に行える技能・技術を習得します。

- ① 高圧受変電設備の概要
- ② 高圧受変電設備の結線図
- ③ 高圧受変電設備用機器と操作
 - ・スイッチ類 (CB, LBS, PAS, PC, DS, PF)
 - ・変圧・変流器類
 - ・継電器類
 - ・計器類
 - ・電線類 (KIP, CV, CVT)
- ④ 高圧受変電設備の機器操作
- ⑤ 高圧受変電設備系統調査
- ⑥ まとめ

対象者

第二種電気工事士の資格を保有する方、または同程度の知識を習得されている方で、自家用電気工作物の保守・点検に携わっている方、またはその候補となる方

持参品

筆記用具、長袖作業服、作業用帽子

使用機器

高圧受変電設備、高圧検電器、フック棒、安全ヘルメット、高圧絶縁保護具一式

コース番号	日 程
E071A	11/25(水) ～ 11/26(木)



センサ回路の設計技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	12,000円

◆各種センサの特徴を理解し、実装するための技術を習得するコースです

訓練内容

電子機器の高付加価値化を目指して、センサ回路及び装置へ実装する際に必要な実装技術を習得します。

- ① センサ種類
- ② センサ回路
- ③ 電圧出力センサ
- ④ 抵抗変化出力センサ
- ⑤ 電流出力センサ
- ⑥ デジタル出力センサ
- ⑦ 温度補償

対象者

電子機器の回路設計・開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補となる方

持参品

筆記用具

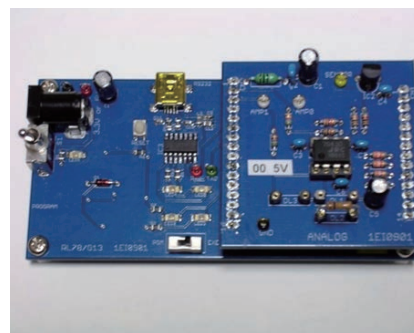
使用機器

マイコンボード、センサ、オシロスコープ、開発ツール、マイコン (RL78/G10)、開発環境 (CS+)

コース番号	日 程
E011A	10/15(木) ～ 10/16(金)

受講者の声

- 新製品の開発においてセンサの知識が必要でした。本講習にてセンサの知識を得ることができました。
- アナログセンサからPCへのデータ取込みが勉強になりました。
- 各センサの特徴やそれらを使用するためのプログラミングを学べた。



基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	31,500円

◆鉛フリーはんだの特徴と実装のポイントを身につけるコースです

訓練内容

鉛フリーの手はんだ付け作業に必要な知識および問題・課題などを解説するとともに、品質管理の一手法を紹介し、また、はんだ付け実習により、実際の作業上のポイントを習得します。

- 鉛フリー化
 - ・環境問題と法規制
 - ・国内外における鉛フリー化の現状
- 手はんだ付けの科学的知識
 - ・実装条件
 - ・こて先と母材の相関関係
 - ・ぬれ性
- 鉛フリー手はんだ付けの課題
 - ・はんだ組成の影響
 - ・はんだ作業、修正の課題
 - ・品質保証とコスト
- 鉛フリー手はんだ作業のポイント
 - ・温度管理の必要性
 - ・プロセス温度管理の重要性
 - ・はんだごての選定
 - ・周辺機器の上手な活用
 - ・こて先の寿命対策
- 鉛フリー手はんだ付け実習
 - ・手はんだ作業による温度変化の測定
 - ・手はんだ作業による、不良発生の原因と対策
 - ・信頼性の高いはんだ付け技能の習得
- まとめ



対象者

はんだ付けに携わり鉛フリーはんだの導入を検討中の方、または鉛フリーはんだでお困りの方

持参品

筆記用具（作業に適した服）

使用機器

温度コントロール付きはんだこて（HAKKO FX-971）、実習用基板・部品等

コース番号	日程
E012A	12/ 3(木) ～ 12/ 4(金)

受講者の声

- 今まで半田は独自のやり方をしてきましたが、今回の講習で正しいやり方を身に付けられました。
- 鉛入りの共晶はんだと鉛フリーはんだの違いや、フラックスの役割・使用方法を学ぶことができました。
- はんだのヌレ性や鉛フリーの特性など知らなかった知識が身につきました。
- コテ元の選定や温度管理が重要なことがわかりました。

Topics

講師は、実習機器メーカー白光㈱のはんだ教育担当講師（日本溶接協会認定講師）を予定しています。

HDLによるLSI開発技術（VHDL 編）

VHDLの基本的なコーディング方法を学びます

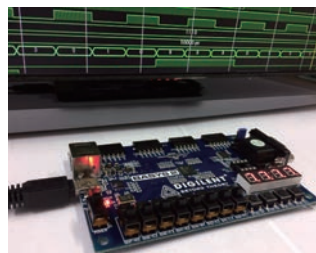
定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	9,500円

◆組み合わせ回路と順序回路、意識して書き分けていますか？

訓練内容

デジタル回路の設計は、HDL（ハードウェア記述言語）を用いた方法が主流です。本講座では、実際にFPGAの評価ボード上にデジタル回路を実装することにより、VHDL記述によるハードウェア設計手法を習得します。

- FPGA開発の概要
- VHDLの文法
- 簡単な記述例
 - ・RTL記述
 - ・テストベンチ記述
- シミュレーション
- 組み合わせ回路と順序回路
- 階層設計
- 総合演習
- まとめ



対象者

同期カウンタ回路程度のデジタル電子回路の基本知識、基本ブロックの真理値表等を理解されている方

持参品

筆記用具

使用機器

FPGA評価ボード（DIGILENT Basys3）、FPGA開発ツール（Vivado）
※開発ツールおよび評価ボードは予告なく変更になることがあります。

コース番号	日程
E030A	12/22(火) ～ 12/23(水)

受講者の声

- 理解するための要素がテキストに詳しく書いてあるので後から見て分かりやすいと思う。
- 書籍では学べない内容について履修できました。
- 今まで回路図で設計していたが、HDLを学ぶことにより設計の幅が広がる。
- 独学では難しい部分のハードルが下がったと感じました。
- FPGAを使った製品（回路）を扱うことはあったが、設計の経験はなかった。基本設計が理解できたので、今後実際に設計して理解を深めることができる。



New HDLによるLSI開発技術 (Verilog-HDL 編)

FPGA を用いたデジタル回路設計の開発技法を学びます。

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	9,500円

◆ Verilog-HDL を使用し、組合せ回路および順序回路、シミュレーション、制約ファイル設定等を体系的に習得するコースです。

訓練内容

- Verilog-HDL 概要
 - Verilog-HDL の基本文法 / 開発ツールを用いた回路設計フロー
- 開発環境と設計フロー
 - 統合開発環境 (IDE) の設定 / プロジェクト作成 / ソース追加 / 合成・配置配線の流れ
- 組み合わせ回路の記述方法
 - 回路図から Verilog 記述へ変換する手順 / assign 文による組み合わせ回路
- 順序回路の記述方法
 - always 文 (クロック同期) を用いたフリップフロップ記述
- 制約ファイルの記述方法
 - ピン配置 (FPGA 端子) と HDL ポートの対応付け
- テストベンチの記述方法
 - テストベンチの基本構造 / シミュレータの操作手順
- FPGA のコンフィギュレーション
 - bit ファイル生成までの処理フロー / 実機 FPGA を用いた動作確認手順

対象者

これから Verilog-HDL を習得したい方

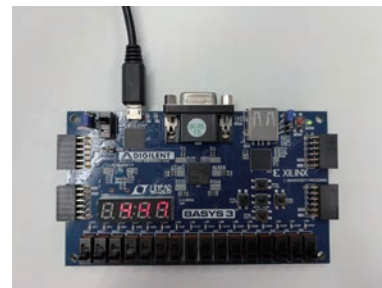
持参品

筆記用具

使用機器

Basys III、パソコン、その他

コース番号	日程
E052A	3/4(木) ~ 3/5(金)



マイコン制御システム開発技術 (RL78 編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	13,000円

◆ RL78 マイコンの実践的な活用技術習得をめざすコースです

訓練内容

制御システム開発において改善や業務の効率化をめざして、マイコンによる制御システムの構築技法を理解し、システムの最適化のための開発・設計手法を習得します。

- マイコンアーキテクチャとマイコンボード
- 開発環境と C 言語
- 入出力回路
- タイマー、割り込み、シリアル通信
- 計測制御システム

対象者

制御システム開発業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補となる方

持参品

筆記用具

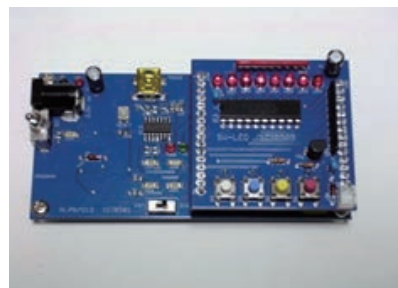
使用機器

マイコンボード、センサ、オシロスコープ、開発ツール、マイコン (RL78/G10)、開発環境 (CS+)

コース番号	日程
E009A	10/29(木) ~ 10/30(金)

受講者の声

- 現在はマイコン設計を外注に任せっきりでブラックボックス状態なので解説できると助かります。
- 自社製品で CPU と LCD を組み合わせた製品開発を検討しているので役立ちました。
- ハードとソフトの双方からの視点で CPU を解説していただき大変分かり易かったです。



マイコン制御システム開発技術（組み込みマルチスレッドプログラミング）

興味にしていたレガシーな技術を、今こそ学びませんか？

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	21,000円

◆ C 言語の pthreads ライブラリを用いて少ない資源を意識したマルチスレッドシステムの開発技術を学びます

訓練内容

近年は組み込み機器でも通信システムや高度な UI といった複雑な処理が求められるようになってきました。これらの処理を確実、かつ効率的に処理するためにはマルチタスクシステムが必要です。本訓練では pthreads ライブラリを用いたマルチスレッドプログラミングについて、基本的な考え方と実装時の注意点を、プログラムを実践しながら習得します。

- ① マルチスレッド
- ② スレッドの作成
- ③ スレッドの管理
- ④ ミューテックス
- ⑤ デッドロック
- ⑥ 条件待ち
- ⑦ マルチスレッドセーフなキュー
- ⑧ ソケットプログラミング
- ⑨ マルチワーカサーバ



対象者

マルチスレッド制御技術を習得したい方、C 言語の基礎知識がある方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、Raspberry Pi、C 言語 (pthread)

コース番号	日程
E025A	1/20(水) ～ 1/22(金)

受講者の声

- 深い技術かつ代表的技術を学べました。
- ...とができま
- ...していまし
- ...てなかつた
- ...した。

中止とさせていただきます。

Topics

作成した SD カードはお持ち帰り頂けます

マイコンによるDCブラシ付きモータ制御技術（PID制御編）

ON/OFF 制御との違いについて学びたい方におすすめです

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	14,000円

◆ DCモータの制御実習を通じて、マイコンによるPID制御技術を習得するコースです

訓練内容

DCモータを使用したP、PI制御などの制御系とON/OFF制御との違いをライントレースロボットの振る舞いで確認し、プログラミング実習を通じて、PID制御による制御システムの構築方法を学びます。

- ① DCモータ制御系の概要
 - ・ DCモータの原理と特性、主な制御方法
- ② DCモータの制御
 - ・ 制御方法
 - ・ 速度制御
- ③ PID制御
 - ・ PID制御の概要
 - ・ PIDパラメータのチューニング実習
- ④ まとめ

対象者

制御系設計業務に従事する技能・技術者の方、マイコンによるPID制御を習得したい方。プログラミング経験がある方、あるいは基本的なC言語のコードが読める方が望ましい。

持参品

筆記用具

使用機器

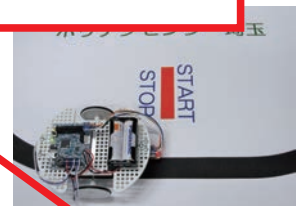
ライントレースロボット教材、統合開発環境 (HEW)、H8 用Cコンパイラ

コース番号	日程
E028A	12/10(木) ～ 12/11(金)

受講者の声

- マイコンによるモータのPWM制御方
- ...た感じでし
- ...きちんと解説
- ...深まった。

中止とさせていただきます。



Topics

このコースの前に連続で受講するとより効果的なコースはこちら↓↓↓
「組み込み技術者のためのプログラミング (C言語習得編)」E013 (P.34)



組込み技術者のためのプログラミング (C言語習得編)

C言語プログラミングに必要な知識や技術を学びます

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	13,500円

◆「プログラミングを学びたい方」、「ハードウェア技術者」におすすめのコースです

訓練内容

マイコン制御で使われることの多い、C言語プログラミングを習得します。

- ① 開発環境と訓練目的の確認
 - ・開発環境動作確認
 - ・コンパイル、プログラム動作確認
- ② C言語プログラミング
 - ・C言語の特徴
 - ・変数とメモリ
 - 汎用C言語と組み込みC言語
 - 変数の種類と用途
 - フロー制御構文の理解 (if文、switch文、while文、for文)
 - ・データ構造 配列、構造体、共用体
 - ・関数・ポインタ
- ③ 応用課題
 - ・データ処理
 - ・動作確認・デバッグ
 - ・評価・改善

対象者

C言語を習得したい方、ハードウェアエンジニアの方

持参品

筆記用具

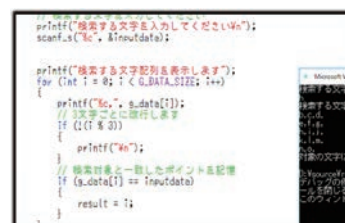
使用機器

パソコン

コース番号	日程
E013B	10/22(木) ~ 10/23(金)

受講者の声

- 独学では習得できない部分が良く理解できました。
- C言語の知識が身に付いた。
- これまでソフトウェアの中については専門業者に任せきりだったが、今後自身でもソフトの構築や確認ができるよう、活かせると感じた。



組込みシステム開発におけるプログラミング実践 (ポインタマスター編)

ポインタは怖くない!

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15~16:00	19,000円

◆C言語における難所「ポインタ」にスポットを当てたコースです。構造体との関係についても理解を深めます

訓練内容

組込みシステム及びソフトウェアの設計・開発をC言語で行う際に難所となるポインタについて配列・文字列・構造体・関数との関係を習得します。C言語でのポインタの理解を深め、もやもや感を解消しましょう。

- ① 訓練目的の確認
- ② 開発環境
- ③ ポインタ
- ④ 配列とポインタ
- ⑤ 文字列とポインタ
- ⑥ 構造体とポインタ
- ⑦ 関数とポインタ
- ⑧ ポインタのさす先にあるメモリの特性
- ⑨ まとめ



対象者

C言語の基本的な文法を理解している方で、組込みシステム及びソフトウェアの設計・開発業務に従事する技能・技術者の方、C言語で応用的なポインタ技術を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

開発環境、デバッガ

コース番号	日程
E015B	11/11(水) ~ 11/13(金)

受講者の声

- 今まで何となく使っていたポインタの実際の挙動、宣言の仕方によるメモリ確保のされ方について、知識が深まった。挙動の違いからどのような操作ができないか、詳しく教えてもらったため、分かりやすかった。
- 実際の業務でポインタに触れる機会があったが、理解が難しく苦戦していた。今回のセミナーを受けて分かりやすく図を用いたりしていただいたおかげで、一つ壁を乗り越えることができたと感じる。
- ずっと曖昧だったポインタについて体系的に学ぶことができ理解が深まった。

Topics

このコースの前に連続で受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「組込み技術者のためのプログラミング (C言語習得編)」 E013

New マイコン制御システム開発技術< Arduino 編> マイコン制御システムの開発技法を学びます

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	20,000円

◆ 世界で使用されている Arduino UNO を使用したマイコン開発技術コースです

訓練内容

組込み開発に必要な各種入出力の仕組みと C 言語による制御方法を習得します。

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| ① Arduino とは | ・ シールドのインタフェース信号 |
| ② 開発環境と開発フロー | ・ 統合開発環境 (IDE) の設定 ・ IDE の使用方法 |
| ③ プログラミングの基本 | ・ C 言語の基本的な決まりごと |
| ④ GPIO の出力ポート | ・ Lチカ |
| ⑤ GPIO の入力ポート | ・ タクタイルスイッチによるオルタネート動作 |
| ⑥ アナログ入力 | ・ 可変抵抗器の電圧を測定する |
| ⑦ PWM 信号 | ・ PWM 制御で LED の明るさを変化させる |
| ⑧ 各種センサを使用する | ・ 温度センサ ・ 加速度センサ ・ 距離センサ |

対象者

C 言語の簡単な制御構造を理解している方で、マイコンによる制御を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

Arduino UNO、パソコン、その他

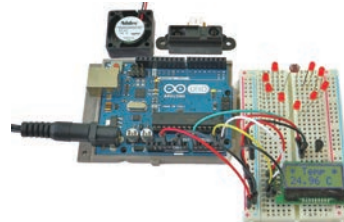
Topics

本セミナーで使用了 Arduino UNO、USB ケーブル、ブレッドボード、電子部品はお持ち帰りできます。

コース番号	日 程
E041A	10/22(木) ~ 10/23(金)
E041B	1/28(木) ~ 1/29(金)

受講者の声

- 独学では難しかったマイコンボードの開発用言語の文法・意味が理解できた。
- マイコン制御による外部デバイス入出力のイメージが具体的に理解できた。
- 設計を担当していますが、ソフトウェアの故障かハードウェアの故障か切り分けが付き苦勞することが多いです。今回のセミナーを受けて、ソフトウェアとハードウェアの動作の関係の一端を知ることができ、貴重な体験でした。



組込みシステム開発のためのモジュールテスト技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15~16:00	21,500円

◆ 正しいテスト技術で品質向上を目指すコースです

訓練内容

C 言語を使用した 7 セグメント LED ドライバの制作実習を通して、V 字モデルにおけるプログラミング～モジュールテスト (単体テスト) までを体験し、組込みシステムにおけるプログラミング技術およびモジュールテスト技術を習得します。また、C 言語の開発環境の構築についても習得します。

- ① テスト技術とモジュールテストについて
 - ・ V 字モデルによる品質保証
- ② H 8 マイコンプログラムの開発環境を構築
 - ・ 開発環境ツールの入手
 - ・ コンパイラ、リンカの導入と環境設定
 - ・ デバッグ環境の構築
- ③ ペリフェラル他を使ったドライバプログラム作成
- ④ モジュールテスト、デバッグ演習
- ⑤ まとめ

対象者

C 言語の簡単な制御構造を理解している方で、制御システム開発業務に従事する技能・技術者 実践的なテスト技術を習得したい方

持参品

筆記用具

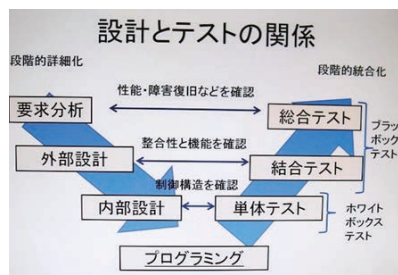
使用機器

パソコン、H8/3694F

コース番号	日 程
E017A	12/16(水) ~ 12/18(金)

受講者の声

- コンポーネント単体のテストの必要性がわかりました。
- ユニットテストの具体的なやり方が分からなかったため、業務に今回の内容を導入したい。





組込みデータベースシステム開発技術

これからデータベース(主にSQL)について学びたい方におすすめです。

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	13,500円

◆データベース言語を理解し、さらに応用するための開発技術を習得するコースです

訓練内容

データベースの標準的な言語であるSQLの習得を中心にデータベース技術を幅広く学習します。

- ・データベースの概要(DBMSの機能、正規化)
- ・SQLによるデータベース操作

① データベース構築

② データベース

③ データベース連携アプリケーション作成実習

④ まとめ

対象者

データベース技術を習得したい方、更に理解を深めデータベース開発技術を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、SQL サーバ

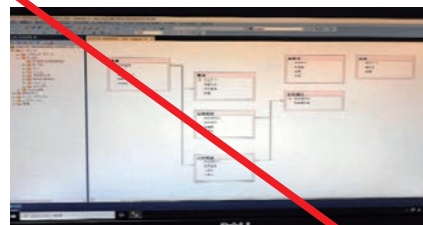
コース番号	日 程
E021A	10/26(月) ~ 10/27(火)

受講者の声

- データベースでSQLを使う必要があり、

中止とさせていただきます。

- 曖昧に覚えていた知識を正しく学ぶことができました。



組込み Linux アプリケーション開発技術 (Raspberry Pi C# 編)

オブジェクト指向による組込みシステム! 簡易的でそのまま使える WebUI アプリ!

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15~16:00	21,000円

◆「オブジェクト指向を活かした組込みシステム」と「制御用 WebUI システム」の構築技法を習得します

訓練内容

Raspberry Pi 上に組込み制御システムの動作環境を構築し、GPIO 制御システムと簡易的な組込み制御用 WebUI アプリを作成します。組込みシステムをオブジェクト指向言語で記述することの利点や手法を実際にプログラムを動かしながら習得することができます。また作成したプログラムは、SD カードでお持ち帰りいただけます。

- ① 組込みシステムにC#を用いた開発
- ② C# による
 - ・ジェネリクス
 - ・環境構築
- ③ オブジェクト指向言語による組込みシステム開発 (GPIO 制御システム)
- ④ オブジェクト指向言語による web サーバー開発
- ⑤ 導入・活用事例

対象者

オブジェクト指向言語の基礎理解がある方で、オブジェクト指向言語による組込みシステム開発技術を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、Raspberry Pi、インターフェースボード

コース番号	日 程
E024A	10/ 7(水) ~ 10/ 9(金)

受講者の声

- セミナー外の資料も含まれており、後から見直す点がよかったです。

中止とさせていただきます。

- セミナー外の資料も含まれており、後から見直す点がよかったです。

- セミナー外の資料も含まれており、後から見直す点がよかったです。



オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術 (Python 編)

これから Python を学びたい方におすすめです。

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	23,500円

◆ アプリ開発に必要なプログラミング技術を身につけるコースです

訓練内容

Python を用いたシステム開発に必要な制御構文、クラスとインスタンス、ライブラリとその応用について学びます。

- ① Python の言語としての特徴
- ② Python によるプログラミング環境の準備
- ③ Python の基本的な文法と構文
 - ・基本データ型
 - ・制御構文
 - ・データ構造 (リスト、ディクショナリ)
 - ・エラーと例外
 - ・標準ライブラリ
- ④ クラスを使ったオブジェクト指向プログラミング
- ⑤ クラスとオブジェクト
 - ・クラスの継承
 - ・パッケージとモジュール
- ⑥ まとめ

対象者

Python を活用したい方、Python での開発技術を習得したい方

持参品

筆記用具

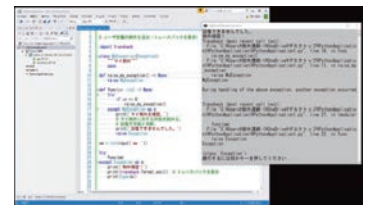
使用機器

パソコン、統合開発環境 (Visual Studio を予定)
※開発環境は予告なく変更になることがあります。

コース番号	日 程
E046A	12/ 2(水) ～ 12/ 4(金)

受講者の声

- ゼロからのスタートで大まかな技術 (手法) や知識が身に付いた。
- 全く知らない世界だったので改めて勉強してみようと思ったから。プログラミングという世界の一端を介間見たこと。
- Python の基礎を習得できたと感じたため。



Web を活用した生産支援システム構築技術

これから Web アプリケーションの構築技術について学びたい方におすすめです。

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	19,500円

◆ 生産性の効率化をめざして、Web を活用した実績データ分析等のシステム構築技術を習得するコースです

訓練内容

生産現場における生産活動全般の効率化を目指して、システム化・一元化された生産計画や製造指示、作業実績等のデータを有効活用するための Web を活用したシステムを構築する技術を習得します。

- ① 製造データの活用事例
 - ・生産計画データからの展開 (発注指示、作業指示等) 等
- ② Web-DB システム構築
- ③ データス
- ④ Web シ
 - ・開発環
 - ・構築実
- ⑤ 総合実習
 - ・上記①の活用事例より Web システム構成で実装する。
- ⑥ まとめ

対象者

生産計画や製造現場で情報を管理する業務に従事する方、Web-DB システムを構築する方、その技術を習得したい方、Java、SQL に関して基本的な知識があることが望ましい

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、プログラム開発環境、データベースソフト 等

コース番号	日 程
E022A	11/18(水) ～ 11/20(金)

受講者の声

- 生産支援システムを構築するのに必要な基礎的な知識が身に付いたため。

中止とさせていただきます。





オープンソースプラットフォーム活用技術 (Android 編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	16,500円

◆携帯端末向けのアプリ開発プロセスの設計・実装技術を通して、Android の活用技術を習得するコースです

訓練内容

オープンソースプラットフォーム (Android) のアーキテクチャを理解し、携帯端末などのアプリケーション開発プロセスである設計実装を通してその活用技術を習得します。

- ① Android の特徴
- ② アーキテクチャ
 - ・基本アーキテクチャとアプリケーションフレームワーク詳細
- ③ 開発環境
- ④ アプリケーション課題
 - ・GUI アプリケーション: 画面設計と入出力処理の実装
 - ・Google API の使用方法
- ⑤ まとめ

対象者

Java 言語をご存知の方、Android アプリケーション開発を習得したい方

持参品

筆記用具

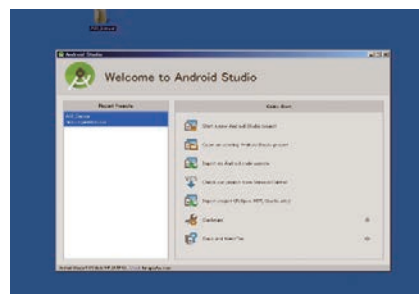
使用機器

統合開発環境 (Android Studio)、Android エミュレータ 他

コース番号	日程
E020A	10/19(月) ～ 10/20(火)

受講者の声

- ポイントとなる点を説明していただいたので、勉強になりました。
- Android の開発はやったことがなかったため新しい刺激になった。
- Android のアプリを使って改善できることがありそう。



New 製造データの一元管理技術

Python を用いたデータの可視化システムの開発技法を学びます。

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	15,000円

◆Python の Streamlit を使用し、各種データの収集方法や可視化 Web システムの開発技術を習得するコースです。

訓練内容

製造現場で発生する各種データの取得方法と分析方法、および可視化 Web アプリの開発方法を習得します。

- ① Streamlit 概要
 - ・開発環境の構築、Streamlit の基礎
- ② Pandas 概要
 - ・Pandas の基礎、表表示、CSV/Excel データの読み込み
- ③ Matplotlib 概要
 - ・Matplotlib の基礎、グラフ表示
- ④ 可視化システムの構築演習
- ⑤ まとめ

対象者

Python の基本的な知識がある方で、Python を利用して、可視化 Web システムの構築技術を習得したい方

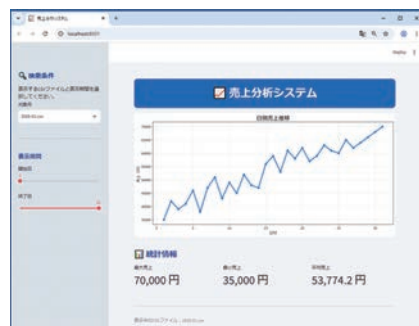
持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、その他

コース番号	日程
E054A	2/9(火) ～ 2/10(水)



写真はイメージです

Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術 (Python 編)」E046A (P.37)

New PHP と XML による Web アプリケーション構築技術

PHP を使用して生産支援 Web システムの内製化技術を学びます。

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	18,000円

◆ PHP と DB を利用し、各種データを扱う Web システムの開発技術を習得するコースです。

訓練内容

製造現場で発生する各種データを取り扱う Web アプリの開発方法を習得します。

- ① 開発環境の構築と PHP 概要
 - ・開発環境 (XAMPP) の構築、PHP の基礎
- ② Web システム開発の概要
 - ・フォームの利用、データチェック方法、セッション管理
- ③ ファイル活用
 - ・ファイル操作、画像アップロード
- ④ データベースの概要
 - ・SQL の基礎、PDO プログラミング、CRUD 処理
- ⑤ Web システム開発演習
- ⑥ まとめ

対象者

PHP と DB を連携する Web システムの構築技術を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、その他

コース番号	日程
E055A	3/10(水) ～ 3/12(金)



写真はイメージです

New ロボットで学ぶ組込みシステム設計実装技術

要求分析からモデリング、実装、検証までの開発技法を学びます。

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	13,000円

◆ ロボットを題材に、モデルと実装の関係を理解し、再利用性の高い組込みソフトウェア開発手法を習得するコースです。

訓練内容

- ① 組込みシステムと要求分析
 - ・組込みソフトウェアと再利用開発の考え方
 - ・モデリングの概要と機能／非機能要件 (ゴール指向要求分析)
- ② ロボットと開発環境
 - ・開発環境の利用方法 / センサとモータを使用した制御プログラムの基礎
- ③ モデリングと実装
 - ・モデリングと実装の関係 / ゴール指向によるモデリング手法
 - ・モデリング実習 / C++ による実装実習
- ④ レビュー討論
 - ・モデルと実装の差異・整合性についての検討
- ⑤ ロボット制御・組込み実習
 - ・要求分析実習 / 開発実習 / 改善実習
- ⑥ まとめ
 - ・実習全体の講評、成果確認、評価

対象者

UML やソフトウェア設計を体系的に学びたい方

持参品

筆記用具

使用機器

ライントレースロボット、パソコン、UML ソフト、その他

コース番号	日程
E053A	1/20(水) ～ 1/22(金)





製造現場における LAN 活用技術 (LAN 設定編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
5名	2日	12時間	9:15～16:00	16,000円

◆LAN を構築するために必要な知識・技術・技能を習得するコースです

訓練内容

レイヤ3スイッチを用いてLAN構築に関する技術・技能を習得します。LANはCisco社が提案する3階層モデルで構築します。

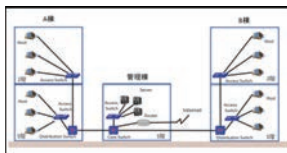
① ネットワークの概要とTCP/IP

② ネットワーク機器の設定

- ・レイヤ3スイッチ
- ・3階層モデル

③ LAN 構築

- ・VLANの設定
- ・トランク接続
- ・静的ルーティング
- ・組織内のLAN構築



対象者

ネットワークシステム管理業務に従事する方
レイヤ3スイッチを用いてLAN構築技術を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

Cisco社製レイヤ3スイッチ (Catalyst 3560-CG Series)、PC

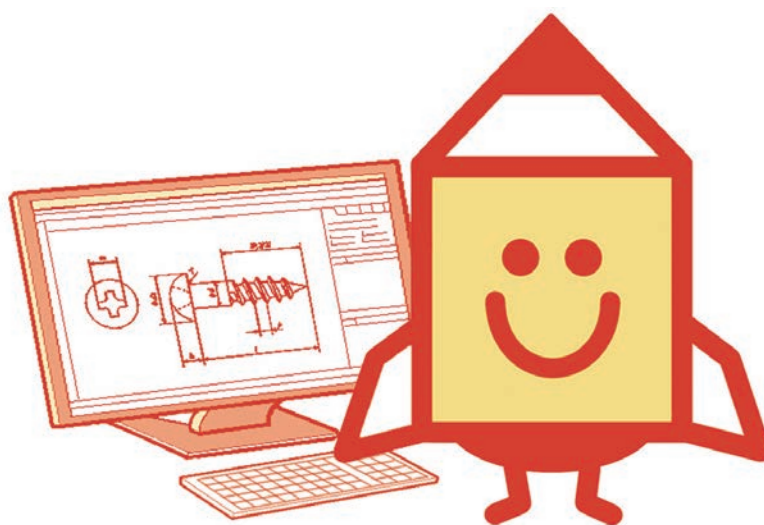
コース番号	日程
E026C	11/ 5(木) ～ 11/ 6(金)
E026D	11/ 9(月) ～ 11/10(火)

受講者の声

- 今まで何となく理解しながら行っていた業務への理解が深まるような知識、体験を得ることができた。
- 実践経験が出来たおかげで運用を想像できたため。

Topics

このコースの後に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「製造現場におけるLAN活用技術(冗長化編)」E049 (P.42)



製造現場における LAN 活用技術（外部接続実践編）

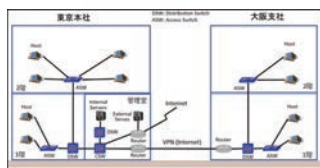
定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
5名	2日	12時間	9:15～16:00	16,500円

◆ LAN と WAN を構築するために必要な知識・技術・技能を習得するコースです

訓練内容

レイヤ 3 スイッチ、ルータを用いて LAN-WAN 構築に関する技術・技能を習得します。
WAN は VPN を用いて構築します。

- ① ネットワークの概要と TCP/IP
- ② 暗号技術
- ③ ネットワーク機器の設定
 - ・レイヤ 3 スイッチ
 - ・ルータ
- ④ LAN-WAN 構築
 - ・動的ルーティング (OSPF)
 - ・GRE トンネリング
 - ・VPN (GREoverIPsec)
 - ・アドレス変換
 - ・ファイアウォール (DMZ)
 - ・組織内の LAN-WAN 構築



対象者

ネットワークシステム管理業務に従事する方
レイヤ 3 スイッチ、ルータを用いて LAN-WAN 構築技術を習得したい方。

持参品

筆記用具

使用機器

Cisco 社製レイヤ 3 スイッチ (Catalyst 3560-CG Series)、Cisco 社製ルータ (Cisco 890 Series)、PC

コース番号	日程
E027A	10/29(木) ～ 10/30(金)

受講者の声

- ネットワークの知識が深まり、業務において確認、検証作業に役立ちそうです。
- 実習を通してプロトコルやルータ、スイッチがどのように機能しているかを理解できた。

Topics

このコースの後に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「製造現場における LAN 活用技術（セキュリティ編）」E044

製造現場における LAN 活用技術（セキュリティ編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
5名	2日	12時間	9:15～16:00	16,500円

◆ サイバー攻撃からネットワークを防御するための知識・技術・技能を習得するコースです

訓練内容

Kali Linux、ネットワーク機器を用いてサイバー攻撃の手法、脆弱性診断、セキュリティ対策に関する技術・技能を習得します。

- ① ネットワークの概要と TCP/IP
- ② 暗号技術
- ③ ネットワーク機器の設定
 - ・ルータ
 - ・ファイアウォール装置
- ④ ネットワークセキュリティ
 - ・サイバー攻撃の手法
 - ・脆弱性の診断
- ⑤ LAN 構築
 - ・ファイアウォールの構築
 - ・セキュリティ対策

対象者

ネットワークシステム管理業務に従事する方、Kali linux、ルータ、ファイアウォール装置を用いてセキュリティ対策技術を習得したい方、また Linux の操作経験があることが望ましい。

持参品

筆記用具

使用機器

Cisco 社製ルータ (Cisco 890 Series)、ファイアウォール装置 (Netscreen-5GT)、PC

コース番号	日程
E044A	2/17(水) ～ 2/18(木)

受講者の声

- セキュリティの知識や重要性について理解できた。
- ファイアウォール装置の動作や使い方について理解できた。



Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「製造現場における LAN 活用技術（外部接続実践編）」E027



製造現場における LAN 活用技術 (冗長化編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
4名	3日	18時間	9:15~16:00	29,500円

◆障害・故障に対応できる LAN を冗長化するための知識・技術・技能を習得するコースです

訓練内容

Cisco 3 階層モデルで構築した LAN のコアスイッチ、ディストリビューションスイッチを 2 重化し、機器の故障、ケーブルの断線などの障害に対応できる技術・技能を習得します。

- ① LAN の構築
 - ・Cisco 3 階層モデル
 - ・トランク接続
 - ・動的ルーティング (OSPF)
- ② 冗長化技術
 - ・リンクアグリゲーション
 - ・スパンニングツリープロトコル
 - ・デフォルトゲートウェイの冗長化
- ③ コアスイッチの冗長化
 - ・冗長化の確認
- ④ コア・ディストリビューションスイッチの冗長化
 - ・冗長化の確認

対象者

ネットワークシステム管理業務に従事する技能・技術者等であって、レイヤ 3 スイッチ、ルータを用いた LAN の冗長化技術を習得したい方

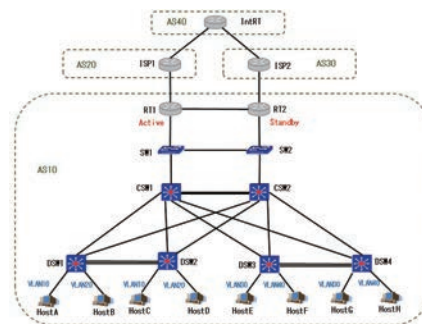
持参品

筆記用具

使用機器

Cisco 社製 L3 スイッチ (Catalyst 3560-CG Series)、Cisco 社製ルータ (Cisco 890 Series)、PC

コース番号	日程
E049B	1/13(水) ~ 1/15(金)



Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
 「製造現場における LAN 活用技術 (LAN 設定編)」E026 (P.40)



ネットワークシリーズのセミナーでは Cisco のルーターやスイッチを使用します。

IPv6 による次世代通信システム構築

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
5名	3日	18時間	9:15~16:00	23,500円

◆ 次世代通信システムである IPv6 の知識・技術・技能を習得するコースです

訓練内容

IPv6 を用いて Cisco3 階層モデルで LAN を構築する技術・技能を習得します。

- ① IPv6 の仕様
 - ・ IPv6 アドレス体系
 - ・ ICMPv6
 - ・ IPv6 マルチキャスト
- ② Pv6 実装実習
 - ・ 近隣探索プロトコル
 - ・ IPv6 アドレスの自動設定
 - ・ DHCPv6
- ③ ネットワークセキュリティ
 - ・ DMZ 型ファイアウォール
 - ・ パケットフィルタリング
- ④ LAN 構築
 - ・ IPv6 を用いた Cisco3 階層モデル
 - ・ トンネル (IPv4 と IPv6 の変換)
 - ・ IPv4、IPv6 デュアルシステム

対象者

ネットワークシステムに従事する技能・技術者であって、IPv4 から IPv6 に移行を考えている方

持参品

筆記用具

使用機器

Cisco 社製 L3 スイッチ (Catalyst 3560-CG Series)、Cisco 社製ルータ (Cisco 890 Series)、PC

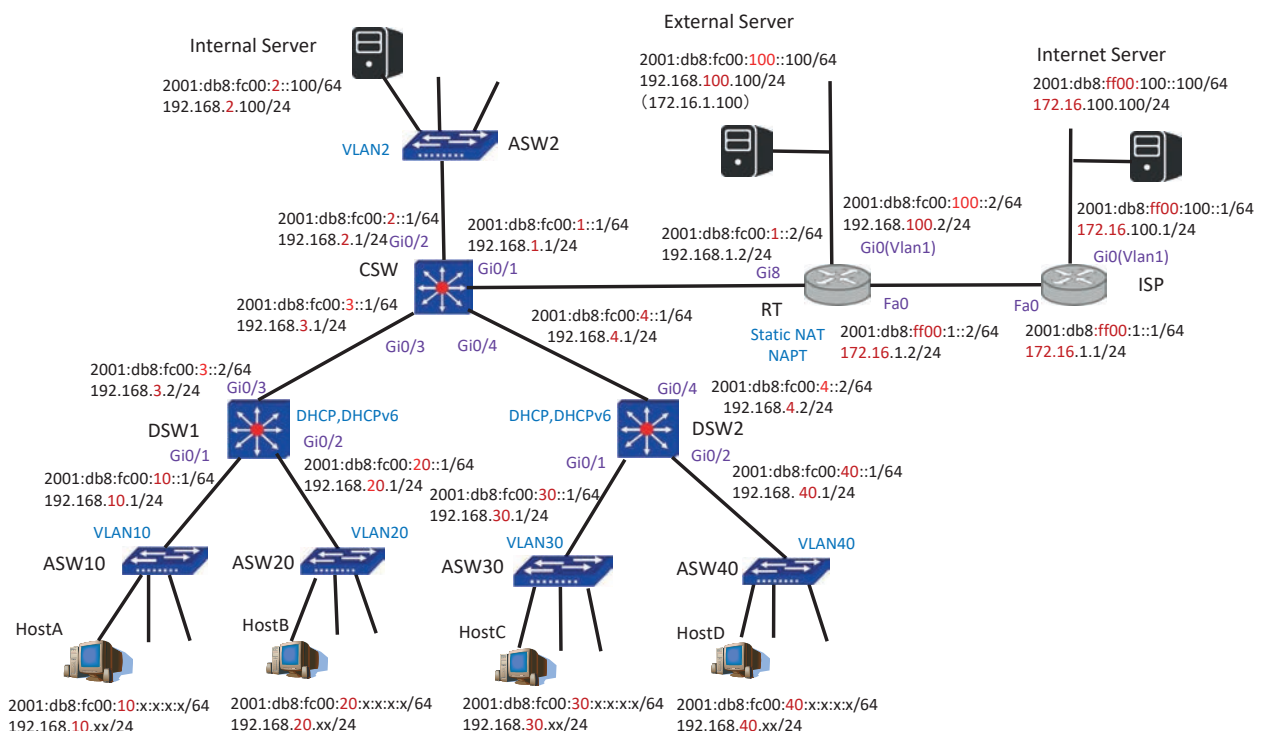
コース番号	日程
E051A	2/24 (水) ~ 2/26 (金)



Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
 「製造現場における LAN 活用技術 (外部接続実践編)」E027 (P.41)

IPv4 and IPv6 Dual System





製造現場の小集団活動実践

(効率的・効果的な QC サークル活動)

定員

20名

日数

2日

時間

12時間

時間帯

9:15～16:00

受講料(税込)

9,500円

◆より良い成果が出る QC サークル活動運営のツボを習得するコースです

訓練内容

QCサークルなどの製造現場の小集団活動リーダーとして、小集団活動を効果的・効率的に運営するノウハウを習得します。

- ① コース概要
- ② 小集団活動とは
 - ・小集団活動の意識
 - ・製造現場での改善と小集団活動
 - ・事例演習「小集団立ち上げの課題と改善」
- ③ 活動の進め方
 - ・活動推進の4つのポイント
 - ・演習〈活動推進の4つのポイント活用演習〉
 - ・メンバーの統制
 - ・合意形成
 - ・活動成果発表
- ④ 小集団活動実践演習
 - ・演習概要説明
 - ・ケース事例の解説／進め方・まとめ方・発表方法の説明
 - ・演習問題
 - ・発表
 - ・講師講評
- ⑤ まとめ

対象者

工場管理、生産管理に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号

S002A

日程

1/14(木) ～ 1/15(金)

受講者の声

- 部下に指導する際に具体的に説明するための技術が身についた。
- 現場で問題が発生した場合の情報収集の方法を理解した。現場で実践していきたい。
- 効率的・効果的に行うにはどうすれば良いかわかった。
- 会社で QC サークルを行っているため、今後の活動で意欲の保ち方などを学べました。
- QC 活動のリーダーとして、同僚や部下に伝えたいと思えた。

New

QC 7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証

定員

20名

日数

2日

時間

12時間

時間帯

9:15～16:00

受講料(税込)

9,500円

◆QC 7つ道具の活用方法をマスターするコースです

訓練内容

生産現場における業務の効率化・適正化・最適化(改善)による生産性向上を目指し、製造現場で発生する問題について、QC 7つ道具を使用して、定量的及び定性的な問題分析をおこない、解決していくための手法を習得します。

- ① コース概要
- ② 品質管理とは
 - ・品質管理／品質保証／品質改善(問題解決)
 - ・品質管理の重要性
 - ・統計学と品質管理
- ③ 製造業における定量的な問題の解決技法
 - ・QC 7つ道具の使い方と留意点
 - ・品質管理演習「QC 7つ道具活用実践」
- ④ 総合演習
 - ・受講者の製造工程における統計的な手法を用いた管理図の作成
 - ・受講者自身が担当する機械部品等の製造・検査工程での課題
 - ・課題解決に向けた特性要因図の作成
- ⑤ まとめ

〈QC 7つ道具〉

- バレード図
- 管理図
- ヒストグラム
- 層別
- 特性要因図
- チェックシート
- 散布図

対象者

生産現場で品質管理や品質改善業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号

S003B

日程

10/8(木) ～ 10/9(金)

受講者の声

- 数学的なアプローチは新鮮だった。
- 問題点のまとめ方や解決策の見つけ方がわかった。
- 実際に手を動かし、グラフ等を作成する中で、新たな発見があった。
- 仕事の幅が広がられる。
- なぜ QC 活動をするのか理解が深まった。

なぜなぜ分析による製造現場の問題解決

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
20名	2日	12時間	9:15～16:00	9,500円

◆ ものづくりの現場で発生している問題の真の原因を効率的に見つけ出し、効果的な解決策を策定する手法をマスターするコースです

訓練内容

製造現場の生産性向上を目指して、事象の論理的つながりを軸に、効率的かつ効果的な問題解決手法の実践を通して、製造現場の問題を解決する能力を習得します。

- ① コース概要
- ② 効果的な問題解決
 - ・ 効果的・効率的な問題解決とは
 - ・ 問題解決思考と論理／体系的思考と暗算的思考／列挙・評価・直観
 - ・ 演習「情報整理と仕分け」
- ③ なぜなぜ分析の進め方
 - ・ 効率的な問題解決の進め方
 - ・ なぜなぜ分析のポイント／問題解決に役立つツールと使い方／問題の定量化／論理の精査とIsnotによる真因検証／対処と解決
 - ・ 演習「真因追究と検証」
- ④ 総合演習
 - ・ なぜなぜ分析で製造現場の問題解決（事例：製品組立て工程におけるネジ締結不良）
 - ・ 事例読み込み／問題の抽出と真因追究／真因検証と解決策の策定／解決策の評価／発表と講師講評
- ⑤ まとめ

対象者

工場管理、生産管理、物流管理に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S005A	10/ 8(木) ～ 10/ 9(金)
S005B	12/17(木) ～ 12/18(金)

受講者の声

- 突発的な問題に対して、早急に暫定対策を立ててダメージを最小限に抑えること、また、その後しっかり恒久対策でフォローすることの大切さを学ぶことができました。
- 問題解決を経験や勘で行うことが多かったが、なぜなぜ分析で根拠がある解決法を考えられそうだと感じた。
- いろんな人とコミュニケーションをとることができ、毎日の業務にも役立つ知識を身につけることができた。
- 会社でなぜなぜ分析をしたときに行き詰まることが多くあったが、今回の演習で考え方を理解し、スムーズに分析できそうだった。

Topics

“問題発見”や“なぜなぜ分析理解”のスタートとなるコースです！

New なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
20名	2日	12時間	9:15～16:00	9,500円

◆ ものづくり現場での問題発見・問題解決するための“なぜなぜ分析手法”を身につける実践コースです

訓練内容

製造現場における生産工程の効率化（改善）を目指して、なぜなぜ分析を効率的に進め効果の高い解決策を策定する手法を習得します。

- ① コース概要
- ② 問題解決の進め方
 - ・ 問題解決の進め方
 - ・ 相対目標と絶対目標
 - ・ 管理のサイクル（デミングサイクル）
 - ・ 問題解決に活用する手法
 - ・ 不良・故障の発生要因
 - ・ 課題実習（現状分析能力の確認）
- ③ なぜなぜ分析
 - ・ なぜなぜ分析とは
 - ・ なぜなぜ分析演習「問題発見・課題解決ケーススタディ」
- ④ 工程の原理・原則
 - ・ 工程精通（工程の原理・原則）
 - ・ 原則発見のポイント
 - ・ 工程精通事例研究
- ⑤ ポカミス防止
 - ・ ポカミスとは（真の要因が追究できていない代表事例）
 - ・ ポカミスの発生（問題の真因追究のポイント）
 - ・ ポカミス防止の可能性（具体的解決策の策定のポイント）
 - ・ ポカミスにおけるマネジメントシステム
 - ・ ポカミス防止へのアプローチ
- ⑥ よりよい進め方
 - ・ なぜなぜを掘り下げる
- ⑦ グループ演習
 - ・ 問題の真の要因追究
 - ・ 解決すべき課題の整理
 - ・ 改善計画を立案
 - ・ 発表
- ⑧ まとめ

対象者

工場管理、生産管理、物流管理に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S006A	12/10(木) ～ 12/11(金)
S006B	12/17(木) ～ 12/18(金)

受講者の声

- 今まで考えていなかった事へ思考を向けられるようになったと感じている。
- これまで「何となく」で考えてきた改善へのプロセスを具体的に学べたことで、今後役立てていけると思った。
- 自分の会社の現場改善に役に立つと思った。
- 生産現場では、日々様々な問題が発生するもので、その場しのぎの対応だけでは再発を繰り返すため、恒久対策へのツールとして深く学べた。
- 今回理解したなぜなぜ分析を活用し、問題を明確にすることで、対応していきたい。また、周りにも今回の学びを伝えていこうにしたい。

Topics

このコースの前に受講するとより効果的なコースはこちら ↓↓↓
「なぜなぜ分析による製造現場の問題解決」 S005



ヒューマンエラー対策実践

(ポカミスのない職場づくり)

定員

20名

日数

2日

時間

12時間

時間帯

9:15～16:00

受講料(税込)

9,500円

◆ヒューマンエラーが発生するメカニズムを知り、予防策を身につけるコースです

訓練内容

生産性の向上と低コスト化を目指して、現場担当者的人為的ミスを軽減し、有効な再発防止策を策定する能力を習得します。事故を未然に防ぎ安全で快適な職場をつくります。

① コース概要

② ヒューマンエラーとは

- ・ヒューマンエラー概要
- ・ヒューマンエラー発生メカニズム
- ・行動科学と心理的要因
- ・事例演習「ヒューマンエラー事例からエラーを考える」

③ ヒューマンエラー防止策

- ・予防安全と発生時対処
- ・設備や作業要素からヒューマンエラーの要因を排除する
- ・担当者の行動からヒューマンエラー発生要因を削除する
- ・視覚効果を使う
- ・演習「職場のヒューマンエラー問題を明らかにする」

④ 現場での定着

- ・定着とは(わかる・動ける・守れる)
- ・間違った3大対策
- ・職場で事例を共有、全員で対策を検討
- ・現場パトロールと無事故シール

⑤ 総合演習

- ・職場のヒューマンエラー対策と定着策を立案し、実行策を策定する
- ・ヒューマンエラーを部門別に分解、発生原因追求と短期的・長期的解決策の立案発表
- ・受講生相互コメント
- ・講師講評と振り返り講座

⑥ まとめ

対象者

生産管理部・製造現場部に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日程
S008B	1/28(木) ～ 1/29(金)
S008C	3/15(月) ～ 3/16(火)

受講者の声

- エラーに対する対処等、具体的なやり方が見えてきてよかった。
- 今までの指導の見直しの機会を得た。他社の取り組みも大変参考になった。
- 問題解決に向けての道筋を知ることができた。
- 仕事で身近だったヒューマンエラーに関して改めて知ることができた

年間
月別
日程表

機械系

機械系・溶接

電気・電子系

共通

通

Q
&
A

受講申込書

ご案内
各種案内

構内案内図

New 生産現場改善手法（現場力向上）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
20名	2日	12時間	9:15～16:00	9,500円

◆ 生産現場の問題発見と改善手法を身につけるコースです

訓練内容

生産現場の現場力向上を目指して、生産現場の問題をどのように認識（発見）し、改善テーマを見つけていくのか、そして改善テーマに対してどのような改善行動を取ればよいのか、作業環境、作業、作業要員の3つの軸で現場を改善する手法を習得します。

- ① コース概要
- ② 生産現場の課題
 - ・能率のムダ／材料のムダ／作り直しのムダ
 - ・問題意識を持って作業現場をみていない
 - ・動きにくい／見にくい／判りにくい
 - ・演習「現場の課題と解決策の検討」
- ③ 生産現場の分析
 - ・動作分析
 - ・ワークサンプリング
 - ・レイアウト分析／動線分析
 - ・作業要員分析
 - ・演習「現場分析演習」
- ④ 現場カイゼン
 - ・改善ツールと使い方
 - ・段取りカイゼン／作業カイゼン
 - ・作業要員カイゼン（リーダーシップとコーチング）
 - ・演習「改善ツールを活用した現場改善ケーススタディ」
 - ・現場の付加価値を高めるメリット
 - ・作業の付加価値／人の付加価値
- ⑤ 総合演習
 - ・模擬ラインによる問題発見・課題解決
- ⑥ まとめ

対象者

工場管理、生産管理の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者

持参品

筆記用具

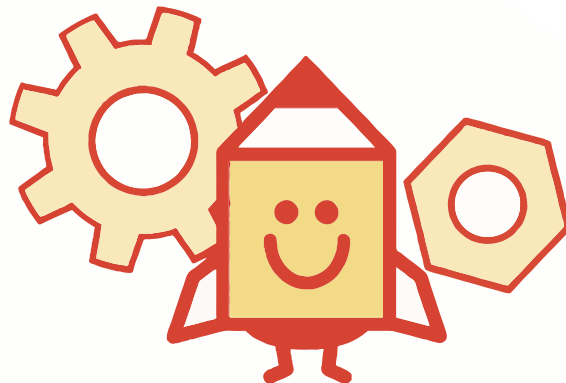
使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S009B	2/9(火) ～ 2/10(水)

受講者の声

- 現場改善に取り組むための視点を整理できた。
- セミナーの内容から改善方法を考案し持ち帰ることができた。
- 現場力とは何かを理解することができた。課題の取り上げ方解決への道のりを知れた。
- 部下とのコミュニケーションの必要、解決の着眼点、問題解決のやり方を知ることができた。
- 善ステップの大切さを考えさせられた。





技能伝承のための部下・後輩指導育成 (OJTトレーナー育成)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
20名	2日	12時間	9:15~16:00	9,500円

◆ 自考自律的な部下を育てる方法をマスターするコースです

訓練内容

生産現場の現場改善における多種多様な技術の技能伝承を目指して、後輩育成のための指導技法を習得します。

- ① コース概要
- ② 技能伝承
 - ・技能伝承の重要性
 - ・部下・後輩指導育成の概要
- ③ 部下・後輩育成の進め方
 - ・目的の提示
 - ・現状把握／分析
 - ・育成計画と育成
- ④ 育成担当者の行動
 - ・育成担当者に求められる5つのスキル
 - ・個別カリキュラム設計
 - ・指導のポイント
- ⑤ 総合演習
 - ・部下指導育成の課題と育成計画の作成
 - 事例読み込み／部下後輩動機付け面接／育成計画作成
 - ・講師講評
- ⑥ まとめ

対象者

品質管理や生産管理の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S011A	3/18(木) ~ 3/19(金)

受講者の声

- 部下に伝達・指導する方法が学べた。
- 今後の後輩の教育や接し方を理解した。
- 様々な方法でアプローチすることが有効と知ることができた。
- 属人化し、教育が進んでいない所へ展開できそうと感じた。

戦略的現場管理者の育成 (できる管理者になろう)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15~16:00	18,000円

◆ 製造現場の中長期的な戦略を策定する能力を身につけるコースです

訓練内容

監督者と管理者の役割の違いを認識し、高い視点と広い視野から戦略的に現場でマネジメントを行っていくことで現場の魅力を高め、顧客の評価を高めていくポイントを習得します。

- ① コース概要
- ② 管理者とは
 - ・監督者と管理者の違いと管理者の役割
 - ・戦略的視点と戦術的視点
 - ・課題設定／考察／意思決定
 - ・演習「製造編場の問題抽出と課題設定」
- ③ 管理の要点
 - ・管理の5機能
 - ・場造りと人作り
 - ・PDCAからRGPDCAへ
 - ・目標設定と進捗管理／リスク管理
 - ・戦略的人材管理
 - ・演習「管理の課題と原因分析」
- ④ 現場の魅力
 - ・現場の魅力を多面的に捉える
 - ・マーケティング戦略と製造現場の魅力
 - ・演習「製造現場の問題解決」
- ⑤ 総合演習
 - ・戦略立案 実行計画策定
 - ・戦略対象部門選定と現状把握／分析
 - ・到達目標設定(生産性・費用・利益率など) 戦略立案／代替案立案
 - ・戦略の評価と実行計画の落とし込み
 - ・発表
 - ・講師講評
- ⑥ まとめ

対象者

工場管理、生産管理に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S012A	1/ 7(木) ~ 1/ 8(金)

受講者の声

- 現代のマネジメント、人の育成方法を実践して働きやすい環境をつくりたい。
- 管理者とは？がわかりやすく理解できた。
- 部下との接し方の具体的な方法について新たに知ることができた。
- 管理という言葉の中に色々な意味があると知り、明日からの業務に活かして行きたいと思えた。
- 新しい考え方に刺激を受けた。

製造業におけるリスクマネジメントシステム構築技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:15～16:00	16,500円

◆ リスクを低減する具体的な手法についてケーススタディを通じてマスターするコースです

訓練内容

新製品開発や製品システム及び工場管理のためのリスクマネジメントシステムの構築を目指して、リスクを低減する実践的かつ具体的な手法についてケーススタディを通じて習得します。

- ① コース概要
- ② リスクの見方、分析の指針
 - ・危険源の特定の方法
 - ・リスク分析に必要なパラメータ
 - ・リスクアセスメントの方法
- ③ マネジメントシステムにおけるリスク分析の実施例
 - ・品質の分野 FMEA と FTA
 - ・環境、安全、医療、情報、食品、機械分野
 - ・CE マーキング、その分野
 - ・リスクマネジメントシステム
- ④ マネジメントシステムの構築と統合
 - ・PDCA サイクルと継続的改善
 - ・マネジメントシステムの構築方法とリスク低減の具体例
 - ・リスク低減のポイント
 - ・統合マネジメントシステムの構築方法
- ⑤ ケーススタディとディスカッション
 - ・リスクアセスメントの方法
 - ・リスクを低減するためのマネジメントプログラムの作成
 - ・リスク管理手順書の作成
- ⑥ まとめ

対象者

製品の企画・開発・設計関連業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S022A	10/21(水) ～ 10/22(木)

受講者の声

- リスクマネジメントの考え方について、よく理解することができた。
- 会社で行っているリスク管理以外の方法を学ぶことができた。
- 社内製造部門での品質トラブルと結びつけて考えることができ、品質トラブルを軽減させることができそうだと感じた。
- 客観的かつ多様な視点と視野で、問題に向き合うことが身についた。
- 新たなツールを知ることができた。

Topics

リスク低減の手法を学ぶならこのコースです！

生産性向上のための現場管理者の作業指示技法

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:15～16:00	24,000円

◆ 人材育成に必要な効果的表現をマスターするコースです

訓練内容

生産現場における OJT 業務の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた生産性や競争力を向上させるための作業指示や指導技法等を習得します。

- ① コース概要
- ② 生産現場における管理者の使命
 - ・リーダーシップと目標値の達成、目標達成の究極の目的
 - ・実習 発表「職場での私の目標達成」
- ③ 生産現場における管理者の業務
 - ・生産現場における現場管理者の役割と指示のあり方
 - ・現場管理者に必要な四つの業務、三つの能力
 - ・発表「製造現場の指示と配慮 私のノウハウ」
- ④ 生産現場で発生する問題への対処
 - ・問題とは、発散思考と収束思考、創造力の発揮、問題解決手法
 - ・実習 手法を自分の現場の問題に当てはめる
- ⑤ 現場指示に必要な事項
 - ・理性と感情、感情の元を理解する
 - ・実習 職場での思い遣り「昨日のあの指示を変えてみる」
- ⑥ 職場改善の実行計画を作成する
 - ・実行計画書の要点
 - ・実習例「模擬ラインによる計画生産実施率100%の計画」
 - ・実習 発表「明日からの職場での実行計画」
- ⑦ まとめ

対象者

製造に従事または製造監督に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

プレゼンテーション機器 等

コース番号	日 程
S024A	11/18(水) ～ 11/20(金)

受講者の声

- 他社も同じような課題を抱えていることがわかり、対処法が参考になった。
- 自分の課題が見つかり、目標ができた。
- 他者の考えや意見などを知ることができ、良い経験となった。
- 同じような悩みを、共有することができ、自信がもてた。

Topics

伝えるコツや分かりやすいノウハウなどを講義や実習を通して学べるコースです。

能力開発セミナー

ハロートレーニング（公共職業訓練）

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉職業能力開発促進センター（愛称：ポリテクセンター埼玉）では、在職者の方を対象に、技術革新や産業構造の変化等に対応し、職業に必要な高度な技能及び知識の習得を支援するため、ものづくり分野を中心に能力開発セミナーを実施しております。ぜひ能力開発セミナーを企業の人材育成・能力開発にご活用いただきますようご案内申し上げます。

当センターでは、年間約2,400人の方々にセミナーをご利用いただいています。
また、セミナーの品質向上のため、受講者およびその事業主の方に対し、コース内容に関する満足度についてのアンケート調査への回答をお願いしております。
その結果、受講者のみなさまの98%の方から「役に立った」、事業主のみなさまの98%の方から「生産性の向上につながった」との高い評価をいただきました。
お寄せいただいた貴重なご意見等は、ひとつひとつのコースをより良いものにするための参考とさせていただきます。

アンケート調査結果から(事業主様)

分 野	ご 意 見
汎用機械加工／ NC機械加工	- きめ細かく丁寧な指導で非常に分かり易かった。補足説明もあり、知識を深めることができた。 - 専門的な知識を習得。技能の向上につながった。製品図の製造順番を理解した。 - 簡単で類似したものをCAMを使用しなくても加工出来るものが出来た。
機械設計/機械製図	- 新たな機能や方法を知ることができた。作業効率の向上に繋がる知識を得ることができた。 - 図面が読めることでスキルが上がり、気づきも多くなった。間違えが減り、品質も向上したと思う。
機械保全	- トラブル対応が早くなった。 - 知識があることにより問題が発生した時早く対処できる。
精密測定	- 設計のみでなく製品になった時の組み立て作業の立場になって考えられる。 - 部品受入検査のスピードアップおよび精度向上につながった。
溶接加工	- 若手社員の技術向上が見られ生産効率が向上した。 - 理論的に理解することで本人のモチベーションが上がると共に廻りの作業者に教える事で全体的なボトムアップが期待できる
生産システム保全/ シーケンス(PLC) 制御技術	- 今まで外注していた制御の部分の部分を社内で行い足掛かりとなった。 - 対応可能な仕事(技術)の範囲の拡大につながった。 - 組織内の多能工化が図れた。
マイコン制御設計	- これまで見よう見まねで記述してきたコードについて意味を理解できた。 - 新技術を学んだことで治具作成等に良い影響を得られたと考える。 - 若い本人が自信を持てた。学生の知識を会社で活かすためのベースとなった。研修後、より積極的に作業している。
ネットワーク	- ネットワーク技術について深く知ることができた。 - 運用・保守の強靱化、負担の分担などが生産性向上や現場力の強化などにつながった。
生産管理/ 品質管理/原価管理	- トラブルの要員を深く分析できるようになってきた。 - 関連部門の問い合わせに、時間をかけずに対応できるようになった。顧客要求仕様の聞き取り精度向上と、提案力UPができた。時系列の意識が向上したことで説明能力が向上した。 - 特に品質向上への取り組み方が良くなった。 - 手作業部分の効率向上に向けた準備ができた。 - 現場で起きている問題点課題点を集めて生産性に向上できるかや、他の社員についても指導等をしてもらい現場力の向上につながりました。

よくあるご質問 Q&A

◆受講申し込みの前に、必ずご一読くださいますようお願いいたします。

Q1 受講申し込みはどのようにしたらよいですか？

A. 「受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX、メール、郵送又は持参にてお申し込みください。
Web（マイページ登録）によるお申し込みも受付しております。

Q2 申し込む場合の条件はありますか？

A. 各コースに関する基本的知識を有する方としております。
ただし、コースによってはより詳細な受講条件を設定している場合があります。
セミナーガイド・ホームページでご確認ください。

Q3 受講申込書になぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A. 所定の要件を満たした方に訓練の修了証書を発行しており、そこに記載するためです。

Q4 コースの詳しい概要について教えてもらえませんか？

A. 当センターのホームページをご覧ください。
更に詳しい内容についてご質問がありましたら、下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

Q5 希望するコースが定員に達している場合、どのようにしたらよいですか？

A. 「キャンセル待ち」としてお申し込みを受け付けることができます。その場合、空きがでた時点で順次ご連絡いたします。
当センターのホームページにて、受講申込状況（空席状況）をご確認いただけます。

Q6 申し込んだコースが中止・変更になることはありますか？

A. 開講日の15日前（土日祝日に当たる場合は、その前の平日）の時点で、受講申込が一定の人数に達していない場合は、中止または日程変更させていただく場合があります。
また、講師の都合等やむを得ない事情により、開催直前に中止または日程変更することもありますので、あらかじめご了承ください。
なお、中止したコースの受講料をお支払い済の場合には、返金させていただきます。

Q7 申し込んだ後で、受講者を変更することはできますか？

A. 受講者の変更は、開講日当日まで対応できます。
受講者の変更をされる場合は、FAX、メールでご連絡をお願いいたします。
なお、開講日当日の変更は、セミナー会場にあります担当講師までお申し出ください。

Q8 申し込んだコースをキャンセルしたいのですがどのようにしたらよいですか？

A. 受講申込みしているコースをキャンセル（取消）する場合は、当該コース開講日の**15日前（土日祝日に当たる場合は、その前の平日）までに必ず**ご連絡ください。
この日を過ぎたキャンセルや手続きがなされない場合は、受講料を全額ご負担いただくことになりますのでご注意ください。受講のキャンセルをされる場合には、メールもしくはFAXでご連絡をお願いいたします。
なお、開講日の15日前までにご連絡いただいたキャンセルにおいて、既に受講料を振り込まれている場合は、受講料を返金いたします。

Q9 受講料の支払い時期は？

A. 受講受付の後、請求書をお送りします。
コース開始日の15日前（土日祝日に当たる場合は、その前の平日）までにお振込みください。
銀行振込手数料は、お客様ご負担になります。また、お振込みいただいた後「受講票」を郵送しますので、セミナー当日ご持参ください。

Q10 領収書は発行してもらえますか？

A. 領収書につきまして、二重発行などのトラブル防止の為、原則として発行しておりません。
振込銀行でお支払い時に、「ご利用明細書」が発行されますので（ネットバンキングご利用の場合も振込決済が完了した画面をプリントアウトして）、そちらを領収書としてお使いください。

Q11 申し込んだコースを欠席する場合はどのようにしたらよいですか？

A. お電話またはFAXでご連絡ください。

Q12 受講する際の服装・持ち物はどのようにすればよいですか？

A. 服装について特に決まりはございませんが、節度ある服装をお願いします。「持参品」として長袖作業服等が必要となるコースがありますので、セミナーガイド・ホームページ・受講票等でご確認ください。

Q13 セミナー会場（教室）への案内はありますか？

A. 当センターの本館1階の案内版、構内掲示板でご確認いただけます。
また、事前にお送りしている「受講票」に記載してあります。
（都合により、受講票でお知らせした研修室から変更になることもありますので、必ずご確認ください。）

Q14 作業服が必要なコースですが、着替え等はできますか？

A. 作業服への着替えが必要なコースについては、ロッカールームをご利用いただけます。
セミナー会場で担当講師がご案内します。

Q15 駐車場はありますか？

A. 当センターには駐車場（セミナー用の駐車場 P.65 を参照ください）がありご利用いただけますが、駐車スペースを確保するものではありません。ご利用できない場合もありますのでご了承ください。
また、駐車場での事故等については、当センターでは責任を負いかねます。

Q16 昼食をとれる場所がありますか？

A. 食堂はありませんが、別館1階に訓練生ホールがあり自由にご持参いただいたものを飲食できます。
自動販売機・電子レンジがありますのでぜひご利用ください。

Q17 宿泊施設はありますか？

A. 当センターには宿泊施設がありません。浦和駅周辺等の宿泊施設に手配をお願いします。

Q18 セミナーの修了証書の交付条件はありますか？

A. 修了証書は、出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%以上を満たしている場合に交付します。
なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

Q19 セミナー会場で録音および撮影してもよいですか？

A. 受講中の写真・動画の撮影、録音等は原則お断りしておりますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

ポリテクセンター埼玉 訓練第二課

TEL 048-882-4003 FAX 048-882-4070

<https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/>

★お申し込みは下記 FAX番号 又は 電子メール に申込書ファイルを添付してお送りください。
(電子メールの件名は『能力開発セミナー受講申込』としてください。)

★お申込み期限はコース開講日の15日前(土日祝日にあたる場合は、その前の平日)です。

FAX : 048-882-4070

または

saitama-poly03@jeed.go.jp

能力開発セミナー受講申込書

埼玉職業能力開発促進センター 所長 殿

能力開発セミナーについて、訓練内容を確認の上、下記のとおり申込みます。

(太枠内をご記入ください)

2025/02版

処 理 欄
受付No.
ID

令和 年 月 日



受付結果については、
郵送にてお送りいたします。
(お急ぎの方は電話にてお問い合わせください。)

フリガナ					
申込会社名 (個人名)					
法人番号	(法人番号がない場合は、以下の該当に○印) 1. 団体 2. 個人事業主 3. 個人				
住 所	〒 ー			TEL	
				FAX	
担 当 者	所属部署等			業種(※1)	
	フリガナ			企業規模 (該当に○印)	A.1~29 B.30~99 C.100~299 D.300~499 E.500~999 F.1,000人以上
	氏 名				
E-MAIL					
受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示による受講 (※2)			2. 個人での自己受講 (※3)	

【ご注意】個人でのお申込みの場合、TEL欄には平日昼間に連絡のつく携帯電話等をご記入ください。

※受付状況	コース番号	コース名	開講日(初日) 月/日	フリガナ 受講者氏名	生年月日 (西 暦)
受講可能 キャンセル待ち (番)	1		/	男・女	・
				(※4) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他	
受講可能 キャンセル待ち (番)	2		/	男・女	・
				(※4) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他	
受講可能 キャンセル待ち (番)	3		/	男・女	・
				(※4) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他	
受講可能 キャンセル待ち (番)	4		/	男・女	・
				(※4) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他	
受講可能 キャンセル待ち (番)	5		/	男・女	・
				(※4) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他	
※受付状況は 当センターで 記入します	備考				

※1 業種は、以下の20種のうち該当するものを1つ選んでください。

A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 F. 電気・ガス・熱供給・水道業
G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業 I. 卸売業、小売業 J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業
L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 O. 教育、学習支援業
P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業

※2 受講区分の「1.会社からの指示による受講」の場合には、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。

※3 個人として受講される方は「住所」「申込会社名(個人名)」欄に個人の住所、氏名をご記入ください。

※4 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差支えありません。

○ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報の適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

○ ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。受講区分欄の1を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。

(注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点がございましたら、あらかじめご相談ください。

ポリテクセンター 埼玉処理欄	①郵送年月日 令和 年 月 日	②郵送年月日 令和 年 月 日	③郵送年月日 令和 年 月 日
-------------------	-----------------	-----------------	-----------------

★受講者変更届は下記 FAX番号 又は 電子メール に変更届ファイルを添付してお送りください。
(電子メールの件名は『能力開発セミナー受講者変更』としてください。)

FAX : 048-882-4070

または



saitama-poly03@jeed.go.jp

能力開発セミナー受講者変更届

埼玉職業能力開発促進センター所長 殿

能力開発セミナーについて、注意事項を確認のうえ、下記のとおり受講者変更を届出いたします。(太枠内をご記入ください)

2025/12版

処 理 欄
受付No.
I D

令和 年 月 日

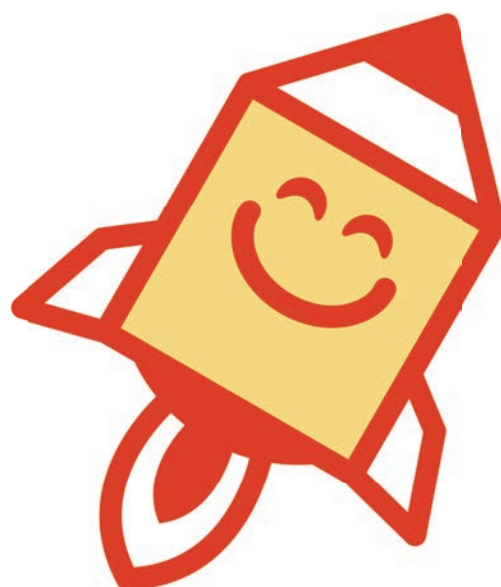
フリガナ 申込会社名 (個人名)			
住 所	〒 -	TEL	
		FAX	
担当者(※1)	所属部署等 フリガナ 氏 名		
E-MAIL			

【ご注意】個人でのお申込みの場合、TEL欄には平日昼間に連絡のつく携帯電話等をご記入ください。

	受付番号 コース番号	コース名	フリガナ 受講者氏名	生年月日 (西 暦)
			1	
↓				
変更後	男・女 . .			
(※) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他				
2			変更前	
			↓	
			変更後	男・女 . .
(※) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他				
3			変更前	
			↓	
			変更後	男・女 . .
(※) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他				
4			変更前	
			↓	
			変更後	男・女 . .
(※) 就業状況(該当に○): 1.正社員 2.非正規雇用 3.その他				
備考				

- ※ 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差支えありません。
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。受講区分欄の1を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。
- (注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点がございましたら、あらかじめご相談ください。

ポリテクセンター 埼玉処理欄	①郵送年月日 令和 年 月 日	②郵送年月日 令和 年 月 日
-------------------	-----------------	-----------------



ハロートレーニング

オーダーメイド型セミナーのご案内

ポリテクセンター埼玉では、公開中の能力開発セミナーの他、企業・事業主団体様のご要望に応じたオーダーメイド型の能力開発セミナーを承っています。
企業・事業主団体様と当センターで、人材育成上の課題、カリキュラム内容、日程などをご相談しながら、よりカスタマイズされたセミナーを計画・実施いたします。

公開中のセミナーでは日程が合わない

自社の実情や目的にあった研修を実施したい

自社では講師・機器・場所が不足して研修が行えない

このような課題を抱えている皆さまをサポートいたします！

- オーダーメイド型セミナー計画のポイント**
- ▶ セミナーガイドでご案内しているセミナーは、オーダーメイド型セミナーとして計画できます。
 - ▶ 会場は、原則として当センターとなりますが、実施内容により出張セミナーも対応します。
 - ▶ 原則10名程度でお申込みいただけます。
協力・系列会社、個人グループ等でも、お申込みいただくことが可能です。
 - ▶ 1セミナー12時間以上（1日6時間として2日以上であれば連続しない日程でも可）です。
 - ▶ 受講料は、教材及び当センターが定める諸経費を含めてご提示します。
- ※ ご相談の内容・日程など、ご要望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

ご相談からセミナー実施までの流れ

手続き	担当		スケジュール							セミナー当日
	事業主	センター	随時		1ヶ月前までに	約3～4週間前	15日前までに			
お問合せ	○		相談票をご提出いただけます	セミナー詳細をお打合せします						
ご相談（内容・日程・人数等）	○	○		打合せした実施内容を書面で提示いたします						
実施内容の提示	○				実施内容をご確認の上、ご了解いただきましたら受講者名簿を添えて受講申込書を提出してください					
実施内容のご確認とご了解		○				お申込みいただいた内容で、見積書及び請求書を発行いたします				
受講料の見積りと請求	○						期日までに受講料をお振込みください			
受講料のご入金	○									
受講票の発行		○								
セミナーの実施（開講）	○	○								

▶ 定員以内であれば、申込後の受講者数の増減により、受講料が変動することはありません（返金、請求は、発生しません。）。あらかじめご了承ください。

オーダーメイド型セミナーFAXお問い合わせ用紙

送信先 FAX 番号 048-882-4070

埼玉職業能力開発促進センター（ポリテクセンター埼玉） 訓練第二課 あて

〒336-0931 さいたま市緑区原山 2-18-8 TEL.048-882-4003

オーダーメイド型セミナー お問い合わせFAX送信状

会社名			業 種	
所在地	〒 ー			
ご担当者 及び 連絡先	ご氏名		所属部署 役 職	
	TEL		FAX	
	E-mail			
お問い合わせ 内 容	セミナー希望内容（分野・日程・受講人数など）			

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成 15 年法律第 57 号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

施設利用サービスのご案内

企業、事業主団体等の皆さまが人材育成を目的とされる社員研修、講演会、講習会等に当センターの研修室・実習場等をご利用いただけます。

また、地域社会の発展に寄与する目的としてのイベントや地域住民の皆さまの行う会議等にもご利用いただけます。

- ① 企業・事業主団体様が行う社員教育、技能・技術研修等
- ② 各種検定やその準備講習
- ③ その他、公共施設として適切な目的として認められたイベント等や会議

利用可能な主な施設

● 51研修室（定員30名）



● 大教室（定員100名）



● 視聴覚教室（定員30名）



利用できる日

- ・ 12月29日～1月3日を除く毎日（土日、祝日を含む）
ただし、当センターが使用しない日に限ります。あらかじめ空き状態をご確認ください。

利用時間

- ・ 施設の利用時間は、平日は午前9時から午後8時まで、土日祝日は午前9時から午後5時までとなります。なお、利用時間については準備や片付け時間も含まれます。
- ・ 1時間単位でのご利用となります。
- ・ 連続日程での利用は1週間を限度とさせていただきます。

主な施設の利用料

■人材育成等でご利用の場合

(1時間あたり：円)

研修室名	面積 (㎡)	定員 (人)	5月・10月	6月～9月	11月～4月
51 研修室	129.00	30	500	1,200	1,400
大 教 室	221.48	100	1,150	1,550	1,500
視 聴 覚 教 室	107.88	30	500	600	600

■地域住民の皆さまの行う会議等でご利用される場合

(1時間あたり：円)

研修室名	面積 (㎡)	定員 (人)	5月・10月	6月～9月	11月～4月
51 研修室	129.00	30	800	2,200	2,600
大 教 室	221.48	100	2,100	2,900	2,800
視 聴 覚 教 室	107.88	30	800	1,000	1,000

※大教室については、テーブル2人掛けの場合の定員です。

- ・上表のうち、6月～9月、及び11月～4月の料金には冷暖房費を含んでおります。
- ・利用料には、消費税及び地方消費税を含んでおります。
- ・利用料は、令和8年4月1日現在の料金です。料金見直しにより変更になる場合があります。

利 用 手 続 き

- ① 当センター施設担当者に電話（問い合わせ先 048-882-4003）でご相談ください。
- ② 施設利用日、使用目的等を確認した後、仮予約といたします。
なお、仮予約受付は利用日の2か月前からの受付となります。
- ③ 仮予約後、所定の「施設設備使用申請書」を提出していただきます。
なお、仮予約後も、当センターの行事等によって使用することとなった場合は、仮予約を取消させていただきますことがありますので、ご了承ください。
- ④ 申請書の審査後、承認の場合は「施設設備使用承諾書」及び「請求書」を発行します。
- ⑤ 原則として利用日の15日前までに利用料を当センター指定口座にお振り込みください。
- ⑥ 使用の取消を希望する場合は、承諾された使用日の15日前の日までに当センター施設利用担当に電話でご相談ください。
なお、使用を承諾された方が、承諾された使用日の15日前の日を経過した後に使用の取消を行った場合、利用料は返還いたしません。

注 意 点

- ① 当センターでは、利用者様が主催する研修等の受付等の業務は致しかねますのでご了承ください。
- ② 承認された使用目的以外では使用はできません。
- ③ 施設の利用にあたっては、火気、臭気、騒音等や作業安全面に十分注意を払ってください。
- ④ 利用者が故意、または重大過失により当センターの設備等を破損、または消失した場合はその損害を賠償していただきます。
- ⑤ ご利用中の一切の事故については、当センターでは責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ⑥ 勧誘・営業活動等のための利用はできません。
- ⑦ ご利用後は掲示物・貼り紙・搬入物品等の撤去を行い、清掃、片付けをして現状復帰をお願いします。
- ⑧ 平日は、駐車場のご利用はできませんので、交通機関をご利用ください。
- ⑨ その他、ご不明な点はお問い合わせください。

そ の 他

- ・食堂はありませんが、別館1階に訓練生ホールがありご持参いただいたものを飲食できます。

ポリテクセンター埼玉 訓練第二課
お問い合わせ先 TEL 048-882-4003 FAX 048-882-4070
<https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/>

人材の力で現場を変える！



生産性向上支援訓練 とは

この訓練は、**企業の生産性を高めるために必要な知識やスキルを習得**できるプログラムです。

企業の課題解決に直結する、実践的な職業訓練をご提供します。

生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を持つ民間機関等と連携し、企業が抱える課題や人材育成ニーズに合わせた訓練をサポートします。

選べる3タイプ

オーダーコース（企業別カスタマイズ型）

企業の課題に合わせて、カリキュラムをオーダーメイド

訓練時間（例）1日6時間、2日12時間など

受講料 2,200円～6,600円（税込）

※10名様以上から申込可能です

オープンコース（ポリテク主催公開講座）

複数企業の参加で、異業種交流や情報交換が可能

訓練時間 1日6時間または2日12時間

受講料 2,200円～3,300円（税込）

※1名様から申込可能です

サブスクリプション型（定額制）

計画的な人材育成に最適！

訓練期間 2ヶ月間

受講料 920円（税込）

※動画視聴による
eラーニング形式

導入のメリット

- ・現場改善に直結
- ・即戦力人材の育成
- ・品質向上と安全性強化
- ・社員のモチベーション向上
- ・柔軟な実施形式

お問合せ先

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部

ポリテクセンター埼玉

生産性センター業務課

〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8

TEL：048-813-1081

E-mail: saitama-seisan@jeed.go.jp

生産性アップのための継続サポート

サブスクリプション型生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上人材育成支援センターでは、eラーニング形式により複数の訓練を定額で受講できる「サブスクリプション型生産性向上支援訓練」を実施しています。

◇サブスクリプション型生産性向上支援訓練 3つのポイント◇

1 受講する時間・場所を柔軟に選択可能！

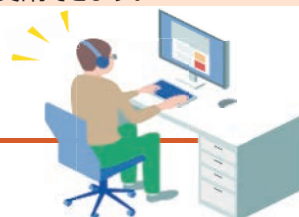
LMSを活用した動画視聴によるeラーニング形式のため、受講する時間や場所を柔軟に選択できます。

2 さらに受講しやすい料金設定！

通常の実践性訓練よりも安価な受講料（1人あたり税込920円）で2か月間定額で受講できます。

3 複数コースをくり返し受講可能！

センターが指定する2か月間で、くり返し受講することができます。



◇訓練受講までの流れ◇

コース選択・受講申込等

受講したい訓練コースに申込後、所定の期日までに受講料を支払います。

受講用IDの送付

訓練開始日の5日前までに、実施機関から受講用IDが送付されます。

訓練受講

訓練開始日から2か月間、申込をした以下の訓練コースをいつでも受講できます。

◇受講できる訓練コース（※）～訓練実施機関：株式会社インソース～ ◇

【生産性向上コース】受講料920円（税込）

業務効率向上のための時間管理

タイムマネジメント手法やタスク管理の方法など、業務の効率化・スピード化のための知識を習得します。

成果を上げる業務改善

業務上の問題点の可視化や、改善に向けた具体的な進め方など、業務改善の視点と方法を習得します。

職場のリーダーに求められる統率力の向上

組織の管理機能や職位に応じた統率力など、職場のチームワークをけん引できる能力を習得します。

【DX対応コース】受講料920円（税込）

ITツールを活用した業務改善

ITツールの特徴や種類など、業務改善に適切なITツールを選定するための知識を習得します。

AI（人工知能）活用

AIの概要とビジネス現場における具体的な活用場面など、AIを活用するための知識を習得します。

効率よく分析するためのデータ集計

表計算ソフトを活用したデータ集計など、効率よく大量のデータを分析するための手法を習得します。

※どちらの訓練コースも上記の動画以外にITスキルに関する研修動画が視聴可能です。

●受講申込について

【生産性向上コース】【DX対応コース】のどちらも受講を希望される場合は両方にお申込みください。

●実施形式

学習管理システム（LMS）を活用した動画視聴によるeラーニング形式

●訓練時間について

各訓練コース12時間以上

詳しい内容はホームページをご覧ください。

訓練のサンプル動画、カリキュラム、受講申込書などを掲載しています。





事業主の皆様へ 人材確保に関するご案内



当センターの訓練修了生は、生産現場における即戦力として、採用していただいた企業様から高い評価をいただいています。

現在、在籍中の訓練受講者も、習得した機械、電気・電子等ものづくり分野に関する技能・技術を活かせる職場を求めており、様々な就職支援を行っております。人材の採用をお考えの企業様、是非この機会にご検討ください。

1

求職情報誌を活用した指名求人

訓練受講者の希望職種・職歴・アピールポイント・資格等を掲載した求職情報誌を定期的に発行・Web公開しています。求人ニーズにあった人材へのアプローチにご活用いただけます。

2

求人企業説明会の開催

訓練受講者に対し、会社概要や仕事内容、求める人材像等を直接説明していただきます。貴社の魅力を伝え、応募につながる機会としてご活用ください。

3

企業実習受入れのお願い

約1ヶ月間、企業での実習を取り入れた職業訓練を実施しており、実習生を受入れていただける企業を募集しています。企業実習を通じて、訓練受講者の適正等を実際に確認することができます。採用後のミスマッチ防止や効果的な人材確保につながります。

上記の内容にご興味ございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。



【お問い合わせ先】

ポリテクセンター埼玉 訓練第一課

TEL : 048-882-4138 FAX : 048-882-4166

ポリテクセンター埼玉 訓練受講者への求人

検 索



埼玉県職業訓練やキャリア教育に関する総合サイト 『彩の国 はたらく情報館』



埼玉県が運営するWebサイトです。埼玉県立高等技術専門校などの県内職業訓練校はもちろん、ポリテクセンター埼玉の情報も掲載されています。



<https://sai-hataraku.jp/>



案内図



交通のご案内

電車のご案内(JR)

大宮駅から……………約7分	→	浦和駅
所沢駅から……………約45分	→	
南越谷駅から……………約17分	→	
上野駅から……………約18分	→	
新宿駅から……………約25分	→	

各地から便利なアクセス

バスのご案内(国際興業バス)

- ① 番乗り場から (乗車：約10分)
……………「原山」下車徒歩3分
- ② 番乗り場から (乗車：約10分)
……………「駒場運動公園入口」下車徒歩5分

バスの利用について詳しくはWebをご覧ください

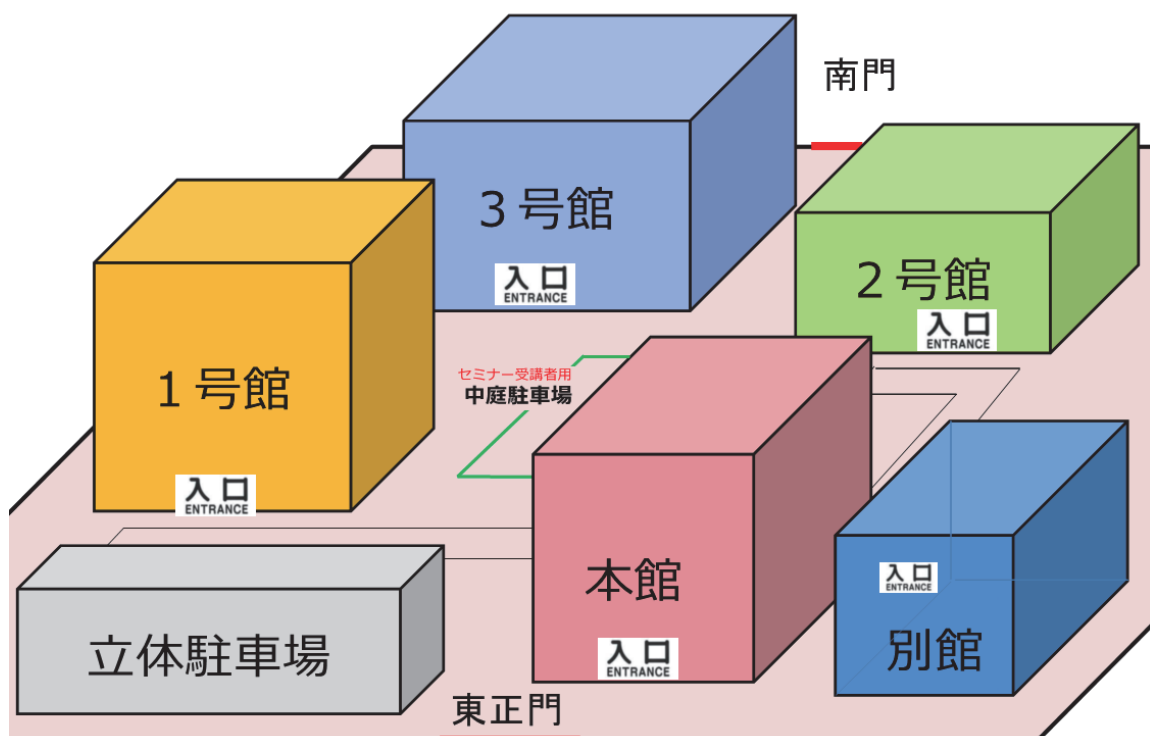
国際興業バス

検索

<https://5931bus.com/>



ポリテクセンター埼玉構内案内図



さらなるスキルアップを
目指すなら！

高度 ポリテクセンター

高度ポリテクセンターは、職業能力開発支援業務における先導的な役割を担う施設として、全国の企業等を対象とした年間700コース以上の豊富な在職者訓練を実施している施設です。

様々な技術分野のコース

高度ポリテクセンターって
どんなところ？



紹介ページ

切削・研削加工	塑性加工・金型	射出成形・金型	溶接	測定・検査・計測	材料・表面処理
機械保全	現場運営・改善	環境・安全	機械設計	自動化	電気設備
自動制御	パワーエレクトロニクス	電子回路	画像・信号処理	組込み・ICT	通信システム



人気コースの例

- 5軸制御マシニングセンタによる加工技術
- 見て触って理解する金型技術
- 設計者CAEを活用した伝熱・熱応用解析
- ロボットシステム設計技術
- 実習で学ぶ生成AIと実践的RAGアプリケーション開発
- マイコン制御システム開発技術

※詳しくは、公式サイトをご覧ください。



お問合せ先

高度ポリテクセンター

- 〒 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2
- ☎ 043-296-2582
- ✉ kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト

埼玉県内の職業訓練実施施設のご案内

埼玉県立の職業能力開発センターと高等技術専門校においても在職者を対象とした職業訓練を行っています。

講習内容など詳細は、最寄りの高等技術専門校等へお問い合わせください。

校 名	所在地	電話番号
職業能力開発センター	〒331-0825 さいたま市北区櫛引町2-499-11	048-651-3122
中央高等技術専門校	〒362-0053 上尾市戸崎975	048-781-3241
川口高等技術専門校	〒332-0031 川口市青木4-4-22	048-251-4481
川越高等技術専門校	〒350-0023 川越市並木572-1	049-235-7070
熊谷高等技術専門校	〒360-0842 熊谷市新堀新田522	048-532-6559
熊谷高等技術専門校秩父分校	〒368-0035 秩父市上町3-21-7	0494-22-1948
春日部高等技術専門校	〒344-0036 春日部市下大増新田61-1	048-737-3511

【県立高等技術専門校に関するお問い合わせ先】

埼玉県産業労働部 産業人材育成課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL048-830-4598

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0811/kojo/index.html>





- ① ポリテクセンター群馬（群馬職業能力開発促進センター）** ポリテク群馬 [検索](#)
〒370-1213 群馬県高崎市山名町 918 TEL.027-347-3905 FAX.027-347-6668
- ② ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）** ポリテク栃木 [検索](#)
〒320-0072 栃木県宇都宮市若草 1-4-23 TEL.028-621-0581 FAX.028-622-9498
- ③ ポリテクセンター茨城（茨城職業能力開発促進センター）** ポリテク茨城 [検索](#)
〒303-0033 茨城県常総市水海道高野町 591 TEL.0297-22-8819 FAX.0297-22-8822
- ④ ポリテクセンター埼玉（埼玉職業能力開発促進センター）** ポリテク埼玉 [検索](#)
〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山 2-18-8 TEL.048-882-4003 FAX.048-882-4070
- ⑤ ポリテクセンター山梨（山梨職業能力開発促進センター）** ポリテク山梨 [検索](#)
〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町 403-1 TEL.055-242-3066 FAX.055-242-3068
- ⑥ ポリテクセンター関東（関東職業能力開発促進センター）** ポリテク関東 [検索](#)
〒241-0824 神奈川県横浜市旭区南希望が丘 78 TEL.045-391-2819 FAX.045-391-9699
- ⑦ 高度ポリテクセンター（千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター）** 高度ポリテク [検索](#)
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 3-1-2 TEL.043-296-2582 FAX.043-296-2585
- ⑧ ポリテクセンター千葉（千葉職業能力開発促進センター）** ポリテク千葉 [検索](#)
〒263-0004 千葉県千葉市稲毛区六方町 274 TEL.043-422-4622 FAX.043-304-2132
- ⑨ ポリテクセンター君津（千葉職業能力開発促進センター君津訓練センター）** ポリテク君津 [検索](#)
〒299-1142 千葉県君津市坂田 428 TEL.0439-57-6313 FAX.0439-57-6386
- ① 関東職業能力開発大学校（関東ポリテクカレッジ）** 関東ポリテクカレッジ [検索](#)
〒323-0813 栃木県小山市横倉 612-1 TEL.0285-31-1733 FAX.0285-27-0240
- ② 千葉職業能力開発短期大学校千葉校（ポリテクカレッジ千葉 千葉キャンパス）** ポリテクカレッジ千葉 [検索](#)
〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町 2-25 TEL.043-242-4193 FAX.043-248-5072
- ③ 千葉職業能力開発短期大学校成田校（ポリテクカレッジ千葉 成田キャンパス）** ポリテクカレッジ千葉 [検索](#)
〒286-0045 千葉県成田市並木町 221-20 TEL.0476-22-4351 FAX.0476-22-4347
- ④ 港湾職業能力開発短期大学校横浜校（港湾カレッジ）** 港湾カレッジ [検索](#)
〒231-0811 神奈川県横浜市中区本牧ふ頭 1 TEL.045-621-5932 FAX.045-623-7171

能力開発セミナー詳細情報の検索方法

能力開発セミナーのコースの詳細情報は、各施設のホームページにて確認できます。

ここでは、全国から収集した在職者向けの情報から気になるコースの内容や実施時期、会場をまとめて検索することができます。

当機構で実施している能力開発コースを“コース名”、“能力開発分野”“都道府県”で検索でき、必要な能力開発コースの“コース概要”“日程”“受講料”“実施している機関の概要”などの情報を調べることができます。

※各コースの詳細、お申込については実施機関にお問い合わせください。

https://www.tetras.uitec.jeed.go.jp/noukai/wp5/wp5_1.php



能力開発コース情報

検索

☒ コース名（キーワード検索）

入力: あなたが受講したいと思っている専門分野、技能等の用語を入力しても検索できます。
全角にて入力して下さい。 例) 金型、C A E、マイコン、画像処理、電気、建築、システム開発、...

☒ コースの開催地（2種類の検索方法があります）

方法その1
都道府県別選択（複数選択できます。）

☐ 北海道

☐ 東北

☐ 青森 ☐ 岩手

☐ 秋田 ☐ 宮城

☐ 山形 ☐ 福島

☐ 九州

☐ 中国

☐ 近畿

☐ 北陸

☐ 関東

☐ 佐賀 ☐ 福岡 ☐ 島根 ☐ 鳥取 ☐ 滋賀 ☐ 石川 ☐ 新潟 ☐ 群馬 ☐ 栃木

☐ 長崎 ☐ 大分 ☐ 広島 ☐ 岡山 ☐ 京都 ☐ 福井 ☐ 富山 ☐ 埼玉 ☐ 茨城

☐ 熊本 ☐ 宮崎 ☐ 山口 ☐ 兵庫 ☐ 中部 ☐ 東京 ☐ 千葉

☐ 鹿児島 ☐ 四国 ☐ 大阪 ☐ 長野 ☐ 山梨 ☐ 神奈川

☐ 沖縄 ☐ 愛媛 ☐ 香川 ☐ 奈良 ☐ 岐阜 ☐ 静岡

☐ 高知 ☐ 徳島 ☐ 和歌山 ☐ 三重 ☐ 愛知

方法その2
区市町村名入力: 都道府県別選択にない市区町名などを入力してください。
全角にて入力して下さい。 例) 札幌、仙台、横浜、川崎、名古屋、神戸、北九州、新宿、渋谷...

【利用上の注意】

公開されている情報は、各能力開発・教育機関から登録された内容に基づき掲載しています。

本データベースは、随時データの更新を行っておりますが、必ずしも利用時点で最新情報ではない場合があります。

本データベース情報を営利、営業等を目的に無断で使用することを禁止します。

高齢・障害・求職者雇用支援機構は、この検索サービスに起因する一切の損害・不利益等について責任を負いません。利用者の責任においてご利用ください。



ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——

お問い合わせ先

らしく、はたらく、
ともに



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉支部

埼玉職業能力開発促進センター

(ポリテクセンター埼玉)

訓練第二課

〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8 TEL 048-882-4003 FAX 048-882-4070



ポリテクセンター埼玉

検索

2026.9